

# 医史学関係文献目録 (五十音順)

平成10(1998)年

順天堂大学医史学研究室編

- |                      |           |
|----------------------|-----------|
| 01 単行本               | 20 産婦人科史  |
| 02 医学切手・書画           | 21 歯学史    |
| 03 医学教育              | 22 史跡・記念碑 |
| 04 医学用語              | 23 疾病史    |
| 05 医師会・学会            | 24 耳鼻咽喉科史 |
| 06 医史学一般             | 25 種痘史    |
| 07 医の倫理              | 26 獣医学史   |
| 08 医療器械              | 27 書簡     |
| 09 医療制度史・医療史         | 28 書誌学    |
| 10 衛生・公衆衛生<br>・予防医学史 | 29 小児科史   |
| 11 解剖学史              | 30 神経学史   |
| 12 眼科史               | 31 診断学史   |
| 13 看護史               | 32 整形外科史  |
| 14 寄生虫学史             | 33 精神医学史  |
| 15 教室史               | 34 生物学史   |
| 16 軍陣医学史             | 35 西洋医学史  |
| 17 形成外科学史            | 36 生化学史   |
| 18 外科史               | 37 生理学史   |
|                      | 38 地方史    |

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 19 細菌学史        | 52 法医学史         |
| 39 治療史         | 53 放射線医学史       |
| 40 伝記          | 54 本草学史・博物学史    |
| 41 伝記(双)       | 55 麻醉学史         |
| 42 伝染病史・防疫史    | 56 門人録          |
| 43 東洋医学史・伝統医学史 | 57 薬学史          |
| 44 内科史         | 58 蘭学史          |
| 45 皮膚科史        | 59 リハビリテーション関係史 |
| 46 泌尿器科史       | 60 検査           |
| 47 病院史         | 61 その他          |
| 48 病跡学         | 62 中国語文献        |
| 49 病理学史        | 63 韓国語文献        |
| 50 風俗史         | 64 欧文献          |
| 51 仏教医学史       |                 |

今回は15、36、48、50、56、63にあたる文献はありません。

## 01 単行本

- 『医と教育—第2回日本医学会特別シンポジウム』日本医学会  
『三省録』浜北市教育委員会  
荒井保男『続 医の名言』中央公論社  
池上正治『伝統医学の世界』エンタプライズ  
岩下哲典『権力者と江戸のくすり』北樹出版  
宇治敏彦、國廣道彦、黒河内康、三重野康、吉田喜重、竹田  
博志、興津要『文化講演集 第2集 文化と社会2』湯島聖

堂、斯文会

川島恂二『関東平野の隠れキリシタン』さきたま出版会

児島保『島根名医略伝』

児玉善仁『〈病氣〉の誕生 一近代医療の起源一』平凡社

志田信男『アヴィセンナ「医学の歌」』草風館

新村拓『医療化社会の文化誌 生き切ること・死に切ること』

法政大学出版会

杉山茂『薬の社会史—日本最古の売薬 外郎・透頂香—』近代

文芸社

鈴木隆雄『骨から見た日本人 古病理学が語る歴史』講談社

第24回日本医学会総会医学史展示小委員会編『尾張から見た

日本と世界の医学史』第24回日本医学会総会記念事業会

千葉県史料研究財団『千葉県の歴史 資料編 近現代7 (社

会・教育・文化1)』

土屋重朗『鷗外をめぐる医師たち』戸田書店

豊橋市教育委員会『安井文庫図書目録 (豊橋中央図書館蔵)』

中野信英 編『速見郡医師會小史』

二宮陸雄『桑田立齋先生』桑田立齋先生顕彰会

日本生命済生会会史編纂室『日本生命済生会七十年史』日本

生命済生会

三好町酒井家調査団『愛知県三好町福田 酒井家文書(二) 地

域知識人書簡 (I)』

森納『齒の民俗民間信仰俗信くすり齒の神様仏様あごなし地

蔵』

森潤三郎『多紀氏の事蹟』大空社

山中英令『紙の山で見つけたもの (故 山中太木の一側面)』

琉球大学医学附属地域医療研究センター『沖縄の歴史と医療史』九州大学出版会

## 02 医学切手・書画

「パスツール切手のチェックリスト」榎本一彦『STETHO-SCOPE』(152)11-15

「切手で医学散歩 1-48」金山知新『Medical Tribune』31(1-53/54)

「医学切手アラカルト 医学の発展に貢献した人々 (1) (2)」河瀬正晴『ふゆーちゃー』(15-16)18

「医学切手アラカルト 予防接種」河瀬正晴『ふゆーちゃー』(17)18

「医学切手アラカルト 注射」河瀬正晴『ふゆーちゃー』(18)18

「医学切手アラカルト 点滴」河瀬正晴『ふゆーちゃー』(19)18

「医学切手アラカルト マラリア」河瀬正晴『ふゆーちゃー』(20)18

「医学切手アラカルト 禁煙運動」河瀬正晴『ふゆーちゃー』(21)18

「医学切手アラカルト 人体構造」河瀬正晴『ふゆーちゃー』(22)18

「医学切手アラカルト 病気との闘い」河瀬正晴『ふゆーちゃー』(23)18

「切手で見る免疫血液学(141-149)」河瀬正晴『Medical Post-graduates』36(1-6)79-80, 166-172, 255-260, 395-400, 463-464

「輸血と献血(7-9)」河瀬正晴『STETHOSCOPE』(152-154)16-19, 10-12, 10-13

### 03 医学教育

「第四高等学校医学部生徒について」赤祖父一知『北陸医史』19(1)11-19

「医科大学国家医学講習科記録(生徒資料も含む)」石崎達『日本医史学雑誌』44(3)317-350

「医と教育 医学教育史の立場から 岡山における医学教育と医学史(抄)」石田純郎『日本医師会雑誌』119(11)1803

「岡山における医学教育と医学史」石田純郎『医と教育—第2回日本医学会特別シンポジウム』33-38

「『医学史』による能動的学習態度育成」大滝純司、阿部和厚、寺沢浩一『医学教育』29(5)309

「医学史の教育的意義」大村敏郎『医と教育—第2回日本医学会特別シンポジウム』20-24

「医と教育 医学教育史の立場から 医学史の教育的意義(抄)」大村敏郎『日本医師会雑誌』119(11)1801-1802

「シンポジウム「若い人たちに医学史を伝えるために」(抄)」

大村敏郎『日本医史学雑誌』44(2)187

「薬大生の病院実習の変遷」金久保好男、北田光一、山村重雄『薬史学雑誌』33(1)97-100

「明治中期帝国大学国家医学講習科の実態」小関恒雄『犯罪学雑誌』64(5)139-144

「明治期の薬学校史：明治期における熊本の薬学教育」小山鷹二『薬史学雑誌』33(2)115-121

「医と教育 医学教育史の立場から 世界の医史学教育の現状(抄)」酒井シヅ『日本医師会雑誌』119(11)1802-1803

「世界の医史学教育の現状」酒井シヅ『医と教育—第2回日本医学会特別シンポジウム』27-30

「日大専門部歯科 昭和18年9月卒業生のアルバムから(抄)」渋谷敏、渋谷幸男、村木春長、谷津三雄、工藤逸郎『日本歯科医史学会々誌』22(3)183

「日大専門部歯科 昭和19年9月卒業生のアルバムから(抄)」渋谷敏、渋谷幸男、村木春長、谷津三雄、工藤逸郎『日本歯科医史学会々誌』22(3)184

「明治期の薬学校史 長崎大学薬学部部の歴史」中島憲一郎『薬史学雑誌』33(2)111-114

「岡山における医学教育と医学史 指定発言」中山沃『医と教育—第2回日本医学会特別シンポジウム』39-40

「医学史探訪 ライデン大学の医師資格試験」二宮陸雄『Nikkei Medical』(9)172-173

「明治一二年から一六年までの東京府における医術開業旧誌

験について (抄) 樋口輝雄『日本医史学雑誌』44(2)270-271

「世界の医史学教育の現状 指定発言」深瀬泰旦『医と教育—第2回日本医学会特別シンポジウム』31-32

「医学史の教育的意義 指定発言」松木明知『医と教育—第2回日本医学会特別シンポジウム』25-26

#### 04 医学用語

「精神科における用語について」岡田靖雄『精神神経学雑誌』100(4)241-247

「『素問攷注』の用字例 (抄)」宮川浩也『日本医史学雑誌』44(2)218-219

「明治期医学書の文体・用語法の分析的研究 (その3) コンピューターによる高山紀斉著「保齒新論」の文体の考察 (抄)」森山徳長、高崎一郎『日本歯科医史学会々誌』22(3)150

#### 05 医師会・学会

「国際老年学協会 (IAG) の歴史」折茂肇『日本老年医学会雑誌』35(3)178-185

「第25回世界獣医学大会の歴史部門の動き」勝山脩『日本獣医学雑誌』(35)34-35

「同仁会の機関誌『同仁』について (抄)」丁蕾『日本医史学雑誌』44(2)236-237

「資料・北陸医学会の淵源と沿革」寺畑喜朔『北陸医史』19(1)

28-39

「第25回世界獣医学大会 (横浜) について 第25回世界獣医学大会の概観」浪岡茂郎『日本獣医学雑誌』(35)31-32

「国際歯科学士会の歴史的研究(その2)戦後日本におけるICD活動の復活 (抄)」森山徳長、高添一郎、長谷川正康、石川達也『日本歯科医史学会々誌』22(3)165-166

「日本歯科医史学会の歩み (抄)」谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』22(3)134-135

#### 06 医史学一般

「幕末期の院内銀山の死亡者記録の分析「門屋養安日記」にみる庶民の医療 (二) (抄)」筋昭三『日本医史学雑誌』44(2)202-203

「医療と歴史との接点を求めて ビルロートの出逢いとすれ違い」大村敏郎『医薬の門』38(1)2-5

「医療と歴史との接点を求めて パレと檜林流の外科」大村敏郎『医薬の門』38(2)58-61

「医療と歴史との接点を求めて アンブロアズ・パレとの出会い」大村敏郎『医薬の門』38(6)320-323

「江戸の考証医家 (抄)」小曾戸洋『日本医史学雑誌』44(3)437-438

「先人たちは性医学をどう学んできたか (抄)」斎藤三朗『神奈川医学会雑誌』25(2)350-351

「19世紀の医学と20世紀の医学」酒井シツ『ヒューマンサイ

- エンス』9(3)30-31
- 「20世紀の医学をふりかえる 20世紀医学年表」酒井シヅ『からだの科学』(200)111-126
- 「心ある医療 医学史にみる「こころある医療」」酒井シヅ『日本医師会雑誌』120(11)1553-1556
- 「日中医学交流史あれこれ」酒井シヅ『東亜』(372)4-5
- 「歴史から見た現代の医学・医療 1 原始時代の病気と医療」酒井シヅ『いずみ』45(1)12-13
- 「歴史から見た現代の医学・医療 2 医の神々と医学の父ヒポクラテス」酒井シヅ『いずみ』45(2)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 3 古代医学と伝統医学」酒井シヅ『いずみ』45(3)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 4 中世の西洋医学一病院」酒井シヅ『いずみ』45(4)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 5 アラビア医学」酒井シヅ『いずみ』45(5)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 6 南イタリアの医学」酒井シヅ『いずみ』45(6)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 7 人体解剖学の再興」酒井シヅ『いずみ』45(7)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 8 血液循環説の発見」酒井シヅ『いずみ』45(8)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 9 錬金術と化学の芽生え」酒井シヅ『いずみ』45(9)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 10 外科の近代化と外科医パレ」酒井シヅ『いずみ』45(10)8-9
- 「杏雨蔵書にみる医学の歴史 解剖」芝哲夫『実験治療』(650)45-48
- 「死体と臓器移植(抄)」杉田暉道『日本医史学雑誌』44(2)272-273
- 「20世紀の医学をふりかえる 疾病構造の変化」鈴木庄亮『からだの科学』(200)18-23
- 「シンポジウム「日本における医史料の蒐集と保存について—その現状と提言」(抄)」寺畑喜朔『日本医史学雑誌』44(2)186
- 「『鎮将府日誌』について(その2)太政官日誌との併読」中西淳朗『神奈川医学会雑誌』25(1)153-154
- 「免疫学入門 腫瘍免疫 概説 歴史的展望」橋本嘉幸『Immunology Frontier』8(1)49-56
- 「『鉄腕アトム氏との出会い』その後(7)-(11)」深瀬泰旦『川崎市医師会会報』(237-241)51-58, 67-75, 76-82, 74-83, 59-71
- 「20世紀の医学をふりかえる 栄養学と20世紀 日本の栄養学は医療に貢献してきたか」細谷憲政『からだの科学』(200)44-47
- 「20世紀の医学をふりかえる 戦争と医療」村上陽一郎『からだの科学』(200)28-31
- 「20世紀の医学をふりかえる DNA 科学と医学」村松正實

『からだの科学』(200)32-36

「20世紀の医学をふりかえる 脳科学にとっての20世紀」養老孟司『からだの科学』(200)48-51

## 07 医の倫理

「臨床医学研究の方法論 インフォームド・コンセント」縣俊彦『臨床医』24(9)1363-1371

「インフォームド・コンセント インフォームド・コンセントの定義と歴史」木坂昌知『臨床成人病』28(9)1001-1006

「20世紀の医学をふりかえる 患者の権利」星野一正『からだの科学』(200)107-110

「[インフォームド・コンセントの現状] インフォームド・コンセントの歴史的背景と課題」森岡恭彦『保健の科学』40(2)92-96

## 08 医療器械

「内視鏡の基礎と臨床 内視鏡の歴史と原理」窪田哲丸『Johns』14(1)7-11

「日本の内視鏡史」丹羽寛文『Gastroenterological Endoscopy』40(Suppl.1)341

## 09 医療制度史・医療史

「文化史に見る古代人の医療観第5回 古代ローマの医療観と医師像 その2」石渡隆司『けんさ』28(1)42-53

「21世紀のプライマリ・ケア専門医 日本における家庭医機能の歴史的考察」川久保亮『プライマリ・ケア』21(2)129-135

「医療が開いた扉 第13の扉 患者の権利の一層の充実を「日本国憲法」施行51年目の新春に寄せて」近藤均『ジャパンポスト』43(1)197-198

「医療が開いた扉 第14の扉 患者の権利の一層の充実を国民皆保険制度の理想と現実—制度導入から40年—」近藤均『ジャパンポスト』43(2)193-194

「医療が開いた扉 第15の扉 患者の権利の一層の充実を医学部・医科大学 昔と今」近藤均『ジャパンポスト』43(3)193-194

「日本における健康保険法の診療報酬改定の歴史概観 —特に医師裁量権の問題点について(医師裁量権の衰微)—」谷荘吉『医学史研究』(74)13-17

「らい予防法と性病予防法」長門谷洋治『北陸医史』19(1)40-47

「20世紀医療史 37 ニクソンの政治と医療」野村拓『月刊保団連』(562)82-83

「20世紀医療史 38 アフリカの保健医療」野村拓『月刊保団連』(565)50-51

「20世紀医療史 39 ラテン・アメリカの医療」野村拓『月刊保団連』(567)52-53

「20世紀医療史 40 福祉国家と優生手術」野村拓『月刊保団連』

- 連』(575)54-55
- 「20世紀医療史 41 DRG 前後」野村拓『月刊保団連』(581)66-67
- 「20世紀医療史 42 社会階層と医療」野村拓『月刊保団連』(585)50-51
- 「20世紀医療史 43 2000年戦略」野村拓『月刊保団連』(588)34-35
- 「20世紀医療史 44 医療における代替」野村拓『月刊保団連』(591)50-51
- 「20世紀医療史 45 生き残り戦略」野村拓『月刊保団連』(596)50-51
- 「20世紀医療史 46 高齢化の波」野村拓『月刊保団連』(599)50-51
- 「20世紀医療史 47 進行形の死」野村拓『月刊保団連』(601)50-51
- 「20世紀医療史 48 カナダ医療の注目度」野村拓『月刊保団連』(603)50-51
- 「20世紀医療史 49 ナーシング・ホームとは」野村拓『月刊保団連』(604)66-67
- 「日本の医療費総枠規制の変遷」野村拓『医学史研究』(74)1-4
- 「海外の医療制度 医療・医学界が直面する問題点 アメリカの大学医学部の苦悩 医療経済の激変 診療・教育と研究の乖離 アメリカの大学医学部の教育・診療・研究制度の歴史」宮井克己『Biomedical Perspectives』7(3)285-289

「江戸の医療②—⑥」山崎幹夫『ヒューマンサイエンス』9(2-6)2

「法制度からみた精神保健福祉の変遷 精神保健福祉法の制定の背景を探る」吉川武彦『医療』52(4)219-225

## 10 衛生・公衆衛生史・予防医学

「労働者の生活と労働時間」小木和孝『医学史研究』(74)21-29

「治療の歴史 水痘ワクチン」高橋理明『治療学』32(12)1569-1573

「近代衛生政策の起源—E. チャドウィックの「衛生思想」をめぐって」野島直子『医学史研究』(74)43-49

「働く人の健康 (14) 砒素と砒素化合物—皮膚炎・中毒・「がん」—」野村茂『労働の科学』53(11)692-693

「臨床医が知っておきたい健康づくり施策日本における健康づくりの歴史」林泰史『治療』80(4)1542-1545

「医療今昔物語 学説・診療の変遷 122 労働衛生—職業性中毒を中心に—」原一郎『臨床科学』34(11)1563-1570

「化学工業の拡大と職業病」原一郎『医学史研究』(74)30-37

「「医療保障・自由集会(1959~79) (日本公衆衛生学会) の記録 「医療 110 番」が提起する諸問題」東田敏夫『医学史研究』(74)53-59

「中小企業と下請けの安全衛生事情と労働者の健康破綻」東田敏夫『医学史研究』(74)38-42

「なぜ、この問題をとりあげるか —高度経済成長下の労働者階級の健康状態」東田敏夫『医学史研究』(74)18-20

## 11 解剖学史

「江戸の腑分」石出猛史『千葉医学雑誌』74(1)1-7

「クスリ指」内林政夫『薬史学雑誌』33(1)74-77

「ベレッティーニ解剖図譜における自律神経系(第二報)(抄)」オルリー・レジス、本宮かをる『日本医史学雑誌』44(2)240-241

「ヴェサリウス解剖学の構成とその起源について(抄)」坂井建雄『日本医史学雑誌』44(2)248-249

「解剖用語「臍」の受容、定着の過程について(抄)」佐藤裕『日本医史学雑誌』44(2)262-263

「中国と日本の解剖制度の比較研究(抄)」陶粟爛『日本歯科医史学会々誌』22(3)178

「辺縁系 その概念の大要と簡単な歴史(英文)」Nakano Imaharu『Neuropathology』18(2)211-214

「日本における解剖図の「眼差し」に関する研究(その4)(抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』22(3)179

「ハックスリの英文・比較骨学図譜(一八六四年)について(抄)」松尾信一『日本医史学雑誌』44(2)250-251

「“解体新書”以前の「神経」概念の受容について」松村紀明『日本医史学雑誌』44(3)385-398

「ニューロサイエンスの仮説 網状説とニューロン説」萬年甫

『脳の科学』20(1)61-67

「脳を固める・切る・染める 先人の知恵」萬年甫『Brain Medical』10(1,3,4)61-67,305-312,419-425

## 12 眼科史

「屈折矯正手術の正しい進め方 屈折矯正手術の歴史と展望」白井正彦『眼科診療プラクティス』1(4)2-11

「眼科医療器機史のCD-ROM化(抄)」奥沢康正『日本医史学雑誌』44(3)434-435

「ディスプレイコンタクトレンズの全て One-Point Advice ディスプレーブルコンタクトレンズの歴史と製造方法」崎元卓『眼科診療プラクティス』1(2)47

「正常眼圧緑内障をどう診るか One-Point Advice 正常眼圧緑内障の歴史」竹内篤、近藤武久『眼科診療プラクティス』1(5)22-23

「文庫の窓から 眼科諸流派の針術 江戸時代における白内障治療」中泉行信、中泉行史、齋藤仁男『臨床眼科』52(12)1858-1861

## 13 看護史

「本院 IVH チームにおける看護婦の役割 歴史と展望」江本真美、且鍋真喜子、千原和美、他『日本静脈・経腸栄養研究会誌』13,126-128

「Grace Elizabeth Alt の看護思想」大石杉乃『東海大学健康

- 科学部紀要』(3)1-9
- 「看護大学生の実習時における困難な問題とコーピング」大石杉乃、溝口満子、竹内佐智恵『東海大学健康科学部紀要』(3)21-30
- 「看護記録に関する歴史的変遷 雑誌「看護」にみる記録に関する文献分析を中心に」太田澄恵、鈴木淳子、若佐柳子、小林佐和子『日本看護学教育学会誌』8(2)109
- 「私が見聞した看護の歴史(第39-48回)」大森文子『看護』50(1-3, 5-6, 8, 10-13)139-147, 125-131, 123-131, 140-148, 123-131, 124-132, 125-133, 123-128, 139-147, 123-131
- 「ある看護婦の生涯」小野公義『STETHOSCOPE』(153)4-8
- 「20世紀の医学をふりかえる 看護にとっての20世紀」小島操子『からだの科学』(200)97-101
- 「看護研究の理解と実践 研究法 歴史的研究」小林礼以子、小林重雄『看護技術』44(9)988-992
- 「ナースが読むトピックス(15)ー(16)難病という難問(1ー2)」近藤均『エキスパートナース』14(1-2)112-113, 124-125
- 「ナースが読むトピックス(17)ナース生涯学習へのヒント」近藤均『エキスパートナース』14(3)116-117
- 「わが国における「公衆衛生看護」の概念の歴史的変遷」白井英子、吉田礼維子、重村峯子、他『看護教育』39(1)52-60
- 「時論 統計からみた准看護婦像」長門谷洋治『日本醫事新報』(3887)71-74
- 「明治助産史 過去から未来へのアプローチ 産婦人科医・緒方正清」日隅ふみ子『助産婦』52(2)60-64
- 「看護思想の源流(5)ーナイチンゲール『看護覚え書』ー」平尾真智子『総合看護』33(1)81-86
- 「看護思想の源流(6)ー19世紀ドイツの看護療法ー」平尾真智子『総合看護』33(2)41-47
- 「看護思想の源流(7)ー20世紀アメリカの看護理論群ー」平尾真智子『総合看護』33(3)65-72
- 「看護思想の源流(8) 東洋の養生法と看護」平尾真智子『総合看護』33(4)92-99
- 「看護という言葉の使用のはじめ(第3報)ー鎌倉時代末期の仏教史書『元享釈書』と看護(抄)」平尾真智子『日本医史学雑誌』44(2)204-205
- 「看護の歴史 近代日本の看護婦たち①横浜軍陣病院・大病院の看護」平尾真智子『ブレインナーシング』14(1)65-67
- 「看護の歴史 近代日本の看護婦たち②看護教育の開始とアメリカ女性宣教師」平尾真智子『ブレインナーシング』14(2)173-175
- 「看護の歴史 近代日本の看護婦たち③看護婦が著した我が国で初めての看護書」平尾真智子『ブレインナーシング』14(3)271-273
- 「看護の歴史 近代日本の看護婦たち④地方における取締りから全国的な看護婦規則へ」平尾真智子『ブレインナーシング』14(4)359-362

- 「看護の歴史 近代日本の看護婦たち⑤看護婦が自営していた派出看護婦会」平尾真智子『ブレインナーシング』14(5) 450-453
- 「看護の歴史 近代日本の看護婦たち⑥公衆衛生の発達と看護の機能の拡大」平尾真智子『ブレインナーシング』14(6) 548-552
- 「看護の歴史 近代日本の看護婦たち⑦高等女学校と看護婦の教育」平尾真智子『ブレインナーシング』14(7)615-618
- 「看護の歴史 近代日本の看護婦たち⑧戦時体制と看護婦規則、国際交流への影響」平尾真智子『ブレインナーシング』14(8)739-741
- 「看護の歴史 近代日本の看護婦たち⑨GHQによる看護改革と新しい看護教育の教授法」平尾真智子『ブレインナーシング』14(9)831-834
- 「看護の歴史—近代日本の看護婦たち⑩准看護婦制度の創設」平尾真智子『ブレインナーシング』14(10)935-938
- 「看護の歴史—近代日本の看護婦たち⑪看護の大学教育の開始」平尾真智子『ブレインナーシング』14(11)1008-1012
- 「看護の歴史—近代日本の看護婦たち⑫専門職への道」平尾真智子『ブレインナーシング』14(12)1082-1085
- 「戴帽式のルーツ」平尾真智子『クリニカルスタディ』19(10) 71-72
- 「ナースキャップの歴史」平尾真智子『クリニカルスタディ』19(10)66-67

- 「訪問看護・在宅ケアの歴史的考察と展望」深瀬須加子『日本看護学教育学会誌』8(2)32-34
- 「第2次大戦以降の米国の看護教育：歴史及び展望（英文）」FURUTA Betty S.『Kawasaki Journal of Medical Welfare』4(1)1-8
- 「看護のための「いのちの歴史の物語」（1-3）」本田克也、浅野昌充、加藤幸信『総合看護』33(2-4)65-72, 45-48, 59-63
- 「看護教育の精神に関する歴史学的研究 人物研究的アプローチを中心に」丸山マサ美『日本看護学教育学会誌』8(2) 172
- 「日本におけるリエゾン精神看護に関する研究 日米比較にみる歴史の変遷と今後の課題」渡辺章子『日本看護研究学会雑誌』21(3)391

#### 14 寄生虫学史

- 「日本の広島県の東部で以前は風土病であった片山病、日本住血吸虫症、の認識及び制御（英文）」MIKAMI Masahiro『北里医学』28(5)461-462
- 「日本における寄生虫学及び寄生虫学者の史的回顧（英文）」YOSHIDA, Yukio『Parasitology International』47(Suppl.)7-9

#### 16 軍陣医学史

- 「横浜軍陣病院における土佐・因州両藩の死者をめぐって

(抄) 中西淳朗『日本医史学雑誌』44(3)430-432

「戦争終末期、中支派遣・一兵站病院の顛末—「自分史」より・半世紀後の検証」東田敏夫『医学史研究』(73)14-19

「20世紀の医学をふりかえる 外科手術の20世紀」相川直樹『からだの科学』(200)68-71

## 17 形成外科史

「Thin Flapの歴史と展望」百束比古、高建華『日本形成外科学会会誌』18(3)123-133

## 18 外科史

「教室における神経芽腫治療の歩み」岩淵眞『日本小児外科学会雑誌』34(2)243-253

「医療今昔物語 学説・診療の変遷 113 外科医の歴史」大村敏郎『臨床科学』34(1)130-137

「外科医の語る外科史と画像」大村敏郎『日本外科系連合学会誌』23(3)390

「アトラスでみる鼠径ヘルニアの手術 鼠径ヘルニア手術法の歴史の変遷」冲中功太『消化器外科』21(11)1683-1685

「佐藤進と乳癌」酒井シヅ『Mamma』(30)表2

「明治時代の乳癌手術」酒井シヅ『Mamma』(29)表2

「我国における近代外傷医療の歴史と外傷医のあり方」鈴木忠『日本外傷学会雑誌』12(2)65-80

「伝記にみる血管の外科 戦場で繰り広げられた手術」田辺達

三『外科』60(13)1784-1786

「集中！頸動脈病変へのアプローチ 頸動脈外科の歴史を知る」根岸七雄『血管外科』17(1)20-22

「ここまで進歩した動脈瘤の診断と治療 人工血管の歴史と展望」野一色泰晴『臨床と研究』75(9)1968-1971

「地藏寺過去帳による華岡青洲の乳癌手術患者三名の死亡年月日」松木明知『日本医史学雑誌』44(4)499-508

「神経内視鏡手術の最前線 神経内視鏡手術の歴史」山鳥崇、上川秀士『Clinical Neuroscience』16(12)1356-1359

「医療今昔物語 学説・診療の変遷 115 マイクロサージャリー」山野慶樹『臨床科学』34(3)417-425

## 19 細菌学史

「アデノウイルス7型感染症 アデノウイルス7型感染症の簡単な歴史、海外動向、国内全国情報及び診断と分子疫学」

稲田敏樹『臨床とウイルス』26(4)205-215

「サルモネラの命名の歴史と正式名称」江崎孝行『日本細菌学雑誌』53(4)629-633

「Bacterial Translocation 歴史と病態」齋藤英昭『侵襲と免疫』7(2-3)56-60

「インフルエンザの全て その臨床最前線 変化するインフルエンザ インフルエンザ抗原変異の歴史」竹内可尚

『Modern Physician』18(11)1285-1288

「サイトメガロウイルスとHHV 6,7 ヒトβヘルペスウイルス

スの基礎と臨床の進歩 サイトメガロウイルス研究の歴史の展望」古川宣『日本臨床』56(1)7-11

## 20 産婦人科史

「性と生殖に関する健康と権利 人工妊娠中絶 人工妊娠中絶の歴史と法律」芦野由利子『ペリネイタルケア』(夏期増刊号) 112-115

「助産婦の歴史」石原力『ペリネイタルケア』17(1-12)82-83, 128-129, 282-283, 364-365, 464-465, 570-571, 652-653, 708-710, 846-847, 924-925, 1012-1013, 1146-1147

「産婦人科医学史<7>助産術」酒井シヅ『The Female Patient』11(1)32-33

「産婦人科医学史<8>産湯」酒井シヅ『The Female Patient』11(2)32-33

「周産期ケアの地域システム化 大阪における周産期医療の地域化 10年の歴史と今後の課題」末原則幸『助産婦雑誌』52(5)404-411

「フィットネス出産準備教育 妊産婦体操の歴史 35年の歩み」松本清一『助産婦雑誌』52(11)970-975

「医療今昔物語 学説・診療の変遷 114 出生前診断」山崎孝一『臨床科学』34(2)269-275

## 21 歯学史

「日本における Begg 法の歴史」大野肅英『ベッグ矯正歯科ジ

ャーナル』932-43

「カナダに於ける歯科教育の歴史第II報—1920-1924年間の歯科及び歯科教育の貢献者像—」尾島光栄、Shimizu Kenji Kenneghth『日本歯科医史学会々誌』22(3)185-190

「江戸時代の歯磨き粉、“かねやす ゆふげん”の看板について(抄)」上瀉口武、嶋村昭辰、長谷川彌『日本歯科医史学会々誌』22(3)146

「童謡“茶目子の日”の中のライオン歯磨きについて(抄)」上瀉口武、長谷川彌、青笹好之、森下昭武『日本歯科医史学会々誌』22(3)153

「1935年米国で発刊された Anesthesia in Dental Surgery にみられる麻酔法について(抄)」京田直人、見崎徹、高田耕司、岡俊一、工藤逸郎、金山利吉『日本歯科医史学会々誌』22(3)138

「歯の歴史における5つの転換点(抄)」後藤仁敏『歯科基礎医学会雑誌』40, 344

「歯科を支えた偉大な人物史 今田見信」榊原悠紀田郎『The Quintessence』17(5)827-829

「越後新発田溝口藩普請奉行定雇大工梅之亟の家系の研究(その1) 梅之亟梅角と木床義歯」佐藤泰彦、佐藤禮『日本歯科医史学会々誌』22(3)195-202

「新発田溝口藩普請奉行定雇大工梅之亟の家系の研究(その2) 新西洋歯科医佐藤梅次郎の足跡(抄)」佐藤泰彦、佐藤禮『日本歯科医史学会々誌』22(3)145

「備急千金要方」における口臭症治療について」佐藤恭道、大熊毅、別部智司、戸出一郎、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』22(2)61-64

「東洋歯科医学専門学校と日本大学合併(抄)」渋谷鉦、渋谷幸男、村木春長、谷津三雄、工藤逸郎『日本歯科医史学会々誌』22(3)161-162

「日大歯科第1回卒業式について(抄)」渋谷鉦、渋谷幸男、村木春長、谷津三雄、工藤逸郎『日本歯科医史学会々誌』22(3)160

「明治時代記載の下顎脱臼整復について(抄)」下総高次『日本歯科医史学会々誌』22(3)172-173

「顎関節症 その歴史的背景(上)(下)」杉崎正志『日本歯科評論』(670-671)149-165, 157-172

「ナソロジーからオーストリア咬合学迄の下顎位に関する歴史的考察」鈴木光雄『日本顎咬合学会誌』19(1)127

「米国におけるフッ化物利用の歴史と現状 文献的考察」筒井昭仁『口腔衛生学会雑誌』48(4)482-483

「Cristensen 咬合器の機構と意義について(抄)」永田和弘『日本歯科医史学会々誌』22(3)144

「傷寒論と歯科医学に関する考察(その1)」西巻明彦、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』22(3)191-194

「水毒における歯科的研究(抄)」西巻明彦、屋代正幸、藤野珥男『日本歯科医史学会々誌』22(3)176

「歯牙硬組織生活力に関する概念の変遷について(抄)」西巻

明彦『日本医史学雑誌』44(2)264-265

「明治および大正生まれの助成歯科医師の平均死亡年齢と死因について(抄)」丹羽源男『日本歯科医史学会々誌』22(3)169

「明治時代から第二次世界大戦前までの歯科医師数の推移について(第2報-地方別)」丹羽源男、岩上智彦、佐藤亮『日本歯科医史学会々誌』22(2)72-76

「明治時代から第二次世界大戦前までの男女別歯科医師数の推移について(第1報)」丹羽源男、岩上智彦、佐藤亮『日本歯科医史学会々誌』22(2)65-71

「顎延長法の研究に関する歴史と将来の展望」萩原敏之『歯界展望』92(5)1031-1038

「京都で試みられた障害者歯科保健医療対策の展開 30年の歴史を振り返って」長谷川清彦『障害者歯科』19(Suppl.)167

「C. Cutter の衛生啓蒙書とその和訳本(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』22(3)154-155

「インプラントの歴史からみた遊離端欠損の処置について」平田宗善、他『日本口腔インプラント学会誌』11(2)280

「Eug. Muller-Wandenswil の教科書を通して見た20世紀初頭のスイスに於ける歯科補綴学(抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』22(3)143

「新制歯科大学の誕生(No.2) 進学過程の開設(抄)」水川秀海『日本歯科医史学会々誌』22(3)147-148

「東洋女子歯科医学専門学校の学則(抄)」武藤雄、渋谷幸男、

- 村木春長、谷津三雄、渋谷敏『日本歯科医史学会々誌』22(3) 152
- 「高山歯科医学院に始まる東京歯科大学学則の分析的考察(その4) 旧制東京歯科大学学則(1946-1952)について(抄)」山岸東太郎、森山徳長、長谷川正康、石川達也『日本歯科医史学会々誌』22(3)151
- 「日本海軍歯科医科士官の歴史(VIII) 無条約時代(抄)」山崎智『日本歯科医史学会々誌』22(3)149

## 22 史跡・記念碑

- 「[島峯陶齋先生乃碑]における碑文について(抄)」大熊毅、戸出一郎、佐藤恭道、別部智司、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』22(3)171

## 23 疾病史

- 「前立腺癌の臨床 診断・治療体系の進歩 序論 前立腺癌治療法の歴史と最近の進歩」阿曾佳郎『日本臨床』56(8)1978-1983
- 「治療の歴史 梅毒」岩本愛吉『治療学』32(10)1341-1342
- 「家族性腫瘍の臨床 現状と問題点 家族性腫瘍の定義と歴史」宇都宮譲二『癌の臨床』44(10)999-1008
- 「感染症と人類の営み 戦いか共存か 歴史のなかのマラリア」大友弘士『治療』80(1)33-37
- 「胎児期栄養状態と糖尿病発症」大森安恵『内分泌・糖尿病科』

6(2)168-171

- 「インフルエンザの全て その臨床最前線 歴史の中にみるインフルエンザ」岡部信彦『Modern Physician』18(11) 1281-1283
- 「糖尿病患者の冠状動脈障害 基礎から臨床まで 歴史 糖尿病と冠状動脈病変」金澤健司、秋田穂束、横山光宏『循環科学』18(9)806-808
- 「てんかんと意識障害 精神医学と神経学の接点 てんかん学における意識障害の歴史的・精神病理学的考察 ジャクソンと自己再帰的意識を中心として」兼本浩祐『てんかん研究』16(1)28
- 「20世紀の医学をふりかえる がんとの闘い」黒木登志夫『からだの科学』(200)62-67
- 「肝炎ウイルスの歴史 肝炎ウイルス探しへの執念・経緯」小池和彦、織田敏次『BIO Clinica』13(2)184-187
- 「20世紀の医学をふりかえる 脂質代謝 動脈硬化にとっての20世紀」五島雄一郎『からだの科学』(200)52-57
- 「『不如帰』で結核史を区分する」小松良夫『医学史研究』(73) 7-13
- 「病が語る日本史 1 縄文・弥生人の病気」酒井シヅ『大法輪』65(2)176-181
- 「病が語る日本史 2 古代の病気」酒井シヅ『大法輪』65(3) 176-181
- 「病が語る日本史 3 疫病」酒井シヅ『大法輪』65(4)182-187

- 「病が語る日本史 4 職業病」酒井シヅ『大法輪』65(5)172-177
- 「病が語る日本史 5 光明皇后と施療」酒井シヅ『大法輪』65(6)156-161
- 「病が語る日本史 6 糖尿病と藤原一族」酒井シヅ『大法輪』65(7)170-175
- 「病が語る日本史 7 梅毒」酒井シヅ『大法輪』65(8)140-144
- 「病が語る日本史 8 コレラ」酒井シヅ『大法輪』65(9)142-147
- 「病が語る日本史 9 怨霊と「もののけ」」酒井シヅ『大法輪』65(10)176-181
- 「病が語る日本史 10 瘧 (マラリア)」酒井シヅ『大法輪』65(11)170-175
- 「病が語る日本史 11 かぜ」酒井シヅ『大法輪』65(12)176-181
- 「歴史から見た糖尿病との戦い」酒井シヅ『保険医の臨床』(378)2-4
- 「歴史から見た糖尿病との闘い」酒井シヅ『糖尿病』41(2)89-93
- 「歴史から見た糖尿病との闘い③糖尿病学の誕生からインスリン発見前夜まで」酒井シヅ『Diabetes Journal』26(1)50-54
- 「歴史から見た糖尿病との闘い④」酒井シヅ『Diabetes Journal』26(2)90-93

- 「胃炎・胃潰瘍・胃ガン H.pylori を中心として 慢性胃炎の分類 歴史の変遷」佐藤貴一、木村健『医学のあゆみ』186(9)481-485
- 「胃炎—Sydney System と Helicobacter pylori 慢性胃炎の組織分類 その歴史の変遷」下田忠和、中西幸浩、吉野孝之『胃と腸』33(8)1073-1078
- 「古典からみた糖尿病の研究 『蘭室秘蔵より』(1)」須藤ハジメ『東洋医学』26(5)40-43
- 「田原淳以後の心臓学の発展と進歩」須磨幸蔵『臨床と研究』75(3)623-624
- 「肝内結石症の病態と治療 総説肝内結石症の研究における歴史的背景」谷村弘、内山和久、石本喜和男『消化器外科』21(9)1417-1421
- 「急性心筋梗塞の治療 基礎から臨床まで 歴史 経静脈的薬物治療とカテーテル治療と」野坂秀行、延吉正清『循環科学』18(1)6-9
- 「悪性リンパ腫病理分類の歴史、現状(特に REAL 分類)と問題点」飛内賢正『癌と化学療法』25(14)2157-2166
- 「アトピー性鼻炎 歴史と免疫」古江増隆『福岡医学雑誌』89(3)79-82
- 「大腸癌の診断・治療 この30年の歴史と進歩」北條慶一『公立昭和病院医学雑誌』2(1)1-13
- 「新しい目でインフルエンザをみる 流行の歴史」前田章子『臨床と微生物』25(増刊号)631-644

「ダニ抗原についての研究の歴史 特に私との関わり 室内塵アレルゲン中の重要な抗原としてのダニ」宮本昭正『感染・炎症・免疫』28(1)56-59

「悪性リンパ腫の過去、現在、未来 悪性リンパ腫分類の歴史」元井信『福山医学』(8)15-20

「看護者のする文学探訪 子規が患った結核 なじみの病と癒しの関係を巡って」山川京子『臨床看護』24(2)279-285

## 24 耳鼻咽喉科史

「古典あれこれ ビザンチン医学と Paulus Aegineta の耳鼻科咽喉科—その1、その2—」飯田収『Johns』14(6-7)876-880, 1002-1005

「古典あれこれ 耳垢小見2—Alzheimer、田所、千葉、岩田—」飯沼壽孝『Johns』14(2)234-236

「古典あれこれ 耳垢小見3—症状のさまざま—」飯沼壽孝『Johns』14(4)598-601

「古典あれこれ 耳垢小見4—足立文太郎先生—」飯沼壽孝『Johns』14(10)1496-1499

「上咽頭癌の基礎と臨床 上咽頭癌治療の歴史」犬山征夫『Johns』14(11)1529-1533

「アレルギー性鼻炎 落穂拾い アレルギー性鼻炎の歴史(続)」奥田稔『アレルギーの領域』5(8-9)1075-1081, 1232-1240

「日中耳鼻科史修正記」中野富夫、CHAO An Zong, QUIAN

Lui, JIAN Jin Huwai『耳鼻と臨床』44(suppl.)529-534  
「解剖と機能 耳と気圧シリーズ 耳気圧外傷研究の歴史」柳田則之、福田成司『Johns』14(8)1140-1142

## 25 種痘史

「富山旅籠町種痘所」についての補遺—富山藩における牛痘法の導入と普及に関する一管見—」赤祖父一知『北陸医史』19(1)64-68

「アメリカにおける人痘接種法—一七二一年からアメリカ独立まで—(その一、二)」小田泰子『日本医史学雑誌』44(3-4)303-316, 509-522

「フランスにおける人痘法受け入れ論争(抄)」小田泰子『日本医史学雑誌』44(2)246-247

「North American Vaccination above the 49th Parallel(抄)」John W.R. McIntyre『日本医史学雑誌』44(2)184-185

「牛痘種痘法の鼻祖中川五郎治に関して過って伝えられていること(抄)」松木明知『日本医史学雑誌』44(2)177-179

「Edward Jenner's Activity in Science(抄)」Malcom F. Beeson『日本医史学雑誌』44(2)180-183

## 26 獣医学史

「下総の牧と牧士」亀谷勉『日本獣医史学雑誌』(35)28

「装蹄の発達および近年の教育と国際交流」黒川和雄『獣医畜

産新報』51(4)282-285

「第25回世界獣医学大会の獣医学の歴史部門に参加して」黒川和雄『日本獣医史学雑誌』(35)32-34

「日本の家畜(獣医)生理学教科書の歴史」津田恒之『日本獣医史学雑誌』(35)16-27

「絵巻物にみる中世獣医史料(3)」中井薫『日本獣医史学雑誌』(35)8-15

「古獣医書「王良二儀秘抄」について(2)一三異本の比較一」長尾壮七『日本獣医史学雑誌』(35)1-7

「明治期の乳価」長尾壮七『日本獣医史学雑誌』(35)29-30

## 27 書 簡

「山脇東洋あて滝長愷(鶴台)書状について」有坂道子『医譚』(90)4268-4273

「池田文書の研究(十六)竹内正信の書簡について」池田文書研究会『日本医史学雑誌』44(1)121-136

「池田文書の研究(十七)船曳清修の書簡について」池田文書研究会『日本医史学雑誌』44(3)415-418

「池田文書の研究(十八)猿渡盛雄・伊東盛貞・伊東盛雄・伊東政敏の書簡について」池田文書研究会『日本医史学雑誌』44(4)563-570

「天保十三年、京都滞在中の小島宝素の書簡」町泉寿郎『日本医史学雑誌』44(1)97-120

## 28 書 誌 学

「春画「英泉・溪斎」に観られる解体新書の影響」岩治勇一『北陸医史』19(1)61-63

「終末期医療における「往生要集」の意義」上野陽里『医学史研究』(73)20-24

「『芸備医事』の復刻事業について(抄)」江川義雄、中川和夫『日本医史学雑誌』44(2)274-275

「月湖編纂『全九集』の諸問題—『月湖抜粹医学迪蒙』からの再検討—」遠藤次郎、中村輝子『漢方の臨床』45(11)35-46

「『全九集』の編纂者とその意図(抄)」遠藤次郎、中村輝子『日本医史学雑誌』44(2)230-231

「本木良永『阿蘭陀全世界地図書訳』(下)一天理図書館所蔵日欧交渉資料(四)一」神崎順一『ビブリア』(110)73-153

「笠原白翁著『白神記』について」白崎昭一郎『北陸医史』19(1)3-6

「養老孟司著「日本人の身体観の歴史」を読んで、竹崎哲学に言及する(抄)」鈴木衛『神奈川医学会雑誌』25(2)348-349

「三代歯科医学書といわれる古書を訳して(抄)」高山直秀『日本歯科医史学会々誌』22(3)170

「順天堂大学医史学研究室所蔵、吉益東洞自筆『古書医言』について(抄)」館野正美『日本医史学雑誌』44(1)149-151

「吉益東洞『古書医言』の文献学的考察—とくに自筆原稿との校合によって—」館野正美『東洋文化研究所紀要』(136)1-47

- 「山脇東洋『蔵志』」月澤美代子『科学技術ジャーナル』7(5) 42-43
- 「『極到餘音』解説」日野原正『極到餘音』1-15
- 「手塚良斎『医学所御用留』(一) - (三)」深瀬泰旦『日本医学雑誌』44(1, 3, 4)91-96, 419-423, 557-562
- 「山本溪山著『入越日記』(一) - 京都発・高岡到着 -」正橋剛二『啓迪』(16)1-10
- 「山本溪山著『入越日記』(二) - 高岡滞在から能登周遊へ -」正橋剛二『医譚』(90)4280-4290
- 「香川修庵の「儒医一本」の儒について - 『大学叢』を中心として -」町泉寿郎『日本医史学雑誌』44(1)49-72
- 「小島寶素・海保漁村の天保十三年の京都訪書行 - 『経籍訪古志』成立の一過程 -」町泉寿郎『東方學』(96 輯別刷)
- 「『よしの冊子』医家関連記事(一)」町泉寿郎『日本医史学雑誌』44(4)541-556
- 「小島寶素の『医心方』卷二十二の伝鈔について(抄)」町泉寿郎『日本医史学雑誌』44(2)200-201
- 「『紹興本草』の新知見(抄)」真柳誠『日本医史学雑誌』44(2) 224-225
- 「『史記』扁鵲倉公列伝の三家注の注音について」宮川浩也『漢方の臨床』45(11)57-72
- 「読者案内の古典入門(基礎編)2」宮川浩也『医道の日本』57(653)173-181
- 「南化本『史記』扁鵲伝の訓点」宮川浩也『日本医史学雑誌』

44(4)523-540

- 「英語圏における初期歯科医学書発達史に関する考察(その3) Garrison-Morton の Bibliography 1-5 版における歯科医学史書の取扱の変化(抄)」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』22(3)164
- 「パライト氏撰著小林義直訳述『歯科提要』と独文原著および英訳本との比較検討」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』22(2)77-82
- 「1848年刊 John Tomes 著 Dental Physiology and Surgery の書誌学的研究(抄)」森山徳長、春日芳彦、塩津二郎、本間孝『日本歯科医史学会々誌』22(3)167
- 「東京歯科大学所蔵「花澤文庫」の書誌学的研究(その2)和書分類について(抄)」森山徳長、塩津二郎、春日芳彦、長谷川正康、石川達也『日本歯科医史学会々誌』22(3)163
- 「小島原泰民著実地必携内科攪要について(抄)」山口秀紀、渋谷敏、渋谷幸男、村木春長、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』22(3)174-175
- 「医療技術の視点から見た『三国志』と『三国志演義』の比較(抄)」和田裕一『日本医史学雑誌』44(2)216-217

## 29 小児科史

- 「韓国における小児科医 過去、現在、未来(英文)」Lim Baek Keun『日本小児科学会雑誌』102(3)195
- 「医療今昔物語 学説・診療の変遷 123 蒙古斑」小野友道

- 『臨床科学』34(12)1695-1702
- 「夜尿症 夜尿症の歴史」片山啓『排尿障害プラクティス』6(3)151-154
- 「20世紀の医学をふりかえる 子どもの健康と20世紀」小林登『からだの科学』(200)85-89
- 「周産期のリスクマネジメント 新生児編 赤ちゃんの危機管理 新生児医療における危機管理の歴史」馬場一雄『周産期医学』28(9)1125-1129
- 「川崎病と厚生省班議 班会議における川崎病研究の歴史」原田研介『Progress in Medicine』18(7)1617-1625
- 「こどもの医史学(23)心身症の概念の変遷」深瀬泰旦『小児看護』21(1)115
- 「こどもの医史学(24)ルヴェルダンの植皮手術」深瀬泰旦『小児看護』21(2)237
- 「こどもの医史学(25)笑気ガスによる麻酔」深瀬泰旦『小児看護』21(3)369
- 「こどもの医史学(26)予防接種のルーツ」深瀬泰旦『小児看護』21(4)483
- 「こどもの医史学(27)溶血性尿毒症症候群」深瀬泰旦『小児看護』21(6)739
- 「こどもの医史学(28)エーテル麻酔の開発」深瀬泰旦『小児看護』21(7)867
- 「こどもの医史学(29)先天性心疾患」深瀬泰旦『小児看護』21(8)999

- 「こどもの医史学(30)クロロホルム麻酔」深瀬泰旦『小児看護』21(10)1381
- 「こどもの医史学(31)乳児突然死症候群」深瀬泰旦『小児看護』21(11)1501
- 「こどもの医史学(32)免疫学の歴史」深瀬泰旦『小児看護』21(12)1633
- 「こどもの医史学(33)免疫学の父 ルイ・パストゥール」深瀬泰旦『小児看護』21(13)1771
- 「コプリック班の原著をたずねて」深瀬泰旦『川崎市小児科医学会会誌』(30)3-20

### 30 神経学史

- 「神経内科と精神科 神経内科からみた神経内科と精神内科の歴史」安藝基雄『こころの臨床ア・ラ・カルト』17(1)15-18
- 「脳とステロイドホルモン その歴史的背景、性ステロイドを中心として」新井康久『神経研究の進歩』42(4)541-547
- 「脳神経血管内手術の最前線 脳神経血管内治療の歴史」後藤勝彌『Clinical Neuroscience』16(6)606-608
- 「神経内科と精神科 精神科から見た神経(内)科と精神科の歴史」臺弘『こころの臨床ア・ラ・カルト』17(1)19-23

### 31 診断学史

- 「梅毒血清診断ワッセルマン反応と日本への紹介について

- 〔抄〕 会田恵『日本医史学雑誌』44(2)266-267
- 「腫瘍マーカーは何を語るか 種痘マーカーの歴史と展開」青木大輔、野澤志朗『臨床婦人科産科』52(2)121-125
- 「MR cholangiopancreatography (MRCP) 画期的胆・膵管撮像法の登場、進歩と臨床応用の現状 MRCPの基礎理論と撮像法進歩の歴史的考察」扇和之、古川隆、秋山洋三、木村祥一郎、上原憲二、村田晃一郎『日本臨床』56(11)2755-2759
- 「古代ギリシャにみられるサーモグラフィ類似の体温計測法」大塚公雄、浅井昭成、木村裕一、戸川達男『Biomedical Thermology』18(1)19-20
- 「び慢性肺疾患における肺生検の意義と適応 び慢性肺疾患における肺生検の歴史と現状 病理医として」齋木茂樹、植草利公、荒木章伸、益田公彦、馬場基男、清水重喜、駒形浩史、薦幸治、高屋敷典生『日本胸部臨床』57(8)601-607
- 「弁と超音波情報 その歴史的検証」仁村泰治『Journal of Cardiology』31(suppl.)3-18
- 「心電学研究の歴史をめぐって T波研究」春見建一『心電図』18(4)489-492
- 「ダニ抗原についての研究の歴史 特に共通抗原性について」宮本昭正『感染・炎症・免疫』28(3)194-198
- 「ダニ抗原についての研究の歴史 ダニ抗原の性状などをめぐって」宮本昭正『感染・炎症・免疫』28(4)262-267
- 「心電学研究の歴史をめぐって 心電図から体表面電位図ま

で」山田和生『心電図』18(6)892-894

## 32 整形外科史

- 「最近の義足ソケット 日本における大腿義足ソケットの歴史」大坪政文『日本義肢装具学会誌』14(2)162-168
- 「整形外科の歴史 18世紀産業革命初期の骨関節疾患治療と整形外科の父の出現」蒲原宏『整形外科看護』3(1)76-83
- 「整形外科の歴史 18世紀後期の骨関節変形の治療」蒲原宏『整形外科看護』3(2)182-189
- 「整形外科の歴史 19世紀初期の整形外科への胎動」蒲原宏『整形外科看護』3(3)274-280
- 「整形外科の歴史 19世紀初期の整形外科 遅々たる歩み」蒲原宏『整形外科看護』3(4)370-378
- 「整形外科の歴史 19世紀初期の整形外科 外科と整形術から整形外科への歩み」蒲原宏『整形外科看護』3(5)486-493
- 「整形外科の歴史 19世紀中期の整形外科 手術を手がけはじめた整形外科」蒲原宏『整形外科看護』3(6)588-596
- 「整形外科の歴史 19世紀中期の整形外科 3つの医療革命からの恩恵」蒲原宏『整形外科看護』3(7)678-683
- 「整形外科の歴史 19世紀中期の整形外科 ギブス包帯からの恩恵」蒲原宏『整形外科看護』3(8)760-766
- 「整形外科の歴史 19世紀中期から後期へ 新しい骨疾患の発見と生理・病理への関心」蒲原宏『整形外科看護』3(9-10)870-873, 984-987

- 「整形外科の歴史 19世紀中期から後期へ 軍陣外科の整形外科へのかかわり」蒲原宏『整形外科看護』3(11)88-93
- 「整形外科の歴史 19世紀中期から後期へ レントゲンなければ整形外科なし」蒲原宏『整形外科看護』3(12)1390-1397
- 「日本整形外科の歴史 源流を開いた先達たち」蒲原宏『関東整形災害外科学会雑誌』29(3)285-286
- 「人工関節置換術その歴史と現況」古賀良生、他『日本整形外科学会雑誌』72(2)293
- 「内側から見た我が国の心臓血管外科の歴史」松本昭彦『神奈川医学会雑誌』25(1)60
- 「股関節の整形外科 今日の常識と話題 人工股関節の問題点 陣股関節の歴史」馬淵清資『整形・災害外科』41(5)677-685
- 「人工股関節開発の歴史に学ぶ」山室隆夫『中部日本整形外科学会雑誌』41(春季学会)1
- 33 精神医学史**
- 「「民間療法」—青森県における事例—」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(44)26-36
- 「一九九五・一九九六年精神科医療史関連文献目録」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(42)32-37
- 「小川恵・金光洙「一精神病院の思い出」」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(44)23-25
- 「香月牛山『牛山活套』より(その1)、(完結)」『呉秀三先生記

- 念精神科医療史資料通信』(43-44)1-7, 1-8
- 「関東大震災時の救護」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(43)30-33
- 「切り抜き帖から(近藤病院・南埼玉病院)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(43)34-38
- 「切り抜き帖から(三井三池鉱爆発)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(44)15-22
- 「久保喜代二・光信幸「精神病の薬物療法」」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(42)27-31
- 「健脳丸広告」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(43)19
- 「精神病院法関係資料」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(43)20-29
- 「精神病患者実験記事(第三二—三四例)、(三四例—三八例)、(三九例)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(42-44)14-26, 8-18, 9-13
- 「高松彝『精神病学綱要』(目次および第一ページ)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(42)7-13
- 「東京府立松沢病院「入院後ノ心得」」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(44)14
- 「わが国における PTSD 研究の動向 外傷概念の歴史の変遷と PTSD」飛鳥井望『精神科治療学』13(7)811-818
- 「狐憑き研究史補遺シリーズ・日本各地の憑依現象(4)」岡田靖雄『精神医学』40(6)167-659

- 「憑きもの現象論 —その構造分析— (上)、(下)」岡田靖雄  
『日本医史学雑誌』44(1,3)3-25,369-354
- 「寺山晃一先生の精神科医療史研究について」岡田靖雄『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(44)37
- 「日本の精神科医療史を調べていくうえでの問題点いくつか」岡田靖雄『精神医学史研究』(1)15-20
- 「日本の精神病学における遺伝学的研究の歴史(その二)(抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』44(2)258-259
- 「20世紀の医学をふりかえる 精神医学にとつての20世紀」風祭元『からだの科学』(200)76-80
- 「情動・意欲の神経機構とその病態 情動の機構と歴史的考察」川村光毅、小幡邦彦『脳の科学』20(7)709-716
- 「作業療法精神科分野の理論の変遷 第1回—第31回の作業療法学会演題の歴史的な分析」木村伊津子、他『作業療法』17(特別号)58
- 「日本における精神疾患概念および分類の時代的変遷」金吉晴『臨床精神医学講座1』439-454
- 「日本における女性と憑依との関連性について その歴史的変遷に関する一考察」黒沢美枝、酒井明夫『臨床精神病理』19(3)289-300
- 「Kraepelinの追想錯誤とBonhoefferのコルサコフ症候群以後のドイツ文献の回顧的考察 コルサコフ症候群の4症候の関連性の観点から」高塩洋『臨床精神病理』19(1)45-60
- 「精神病(分裂病)の治療史 日本の古代から現代まで 江戸

- 後期から明治時代まで」田辺英、八木剛平『臨床精神薬理』1(5)563-568
- 「精神病(分裂病)の治療史 日本の古代から現代まで 古代から江戸時代まで」田辺英、八木剛平『臨床精神薬理』1(3)341-348
- 「精神病(分裂病)の治療史 日本の古代から現代まで 明治時代から大正時代まで」田辺英、八木剛平『臨床精神薬理』1(9)973-979
- 「分裂情動精神病の概念的歴史(英文)」TAMARU Hiroshi『International Medical Journal』5(3)217-227
- 「精神障害の分類・病名・診断などの歴史的概観」濱中淑彦『臨床精神医学講座1』319-389
- 「アヴィセンナ(イブン・シーナ)の「医学範典」における精神医学(第一回)(抄)」濱中淑彦『日本医史学雑誌』44(2)254-255
- 「幻覚概念の史的変遷 医学史と医学的人文 medical humanities をめぐって(2)」濱中淑彦『名古屋市立大学医学会雑誌』49(4)165
- 「精神疾患のComorbidityをめぐって Comorbidity 概念の歴史的概観と現代的意義」広瀬徹也『臨床精神医学』27(12)1495-1501
- 「明治の精神科医高松彝」藤田俊夫『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(42)1-6

## 34 生物学史

- 「ジェーン・グドール—野生チンパンジーの行動研究と保護活動—」月澤美代子『科学技術ジャーナル』7(1)40-41  
 「日本で刊行されたダーウインの伝記」松永俊男『科学史研究』37(206)65-71

## 35 西洋医学史

- 「マレー半島の中のヨーロッパ散歩」石田純郎『医譚』(90) 4291-4301  
 「オランダ・ライデンの外科医ギルドの歴史 (抄)」石田純郎『日本医史学雑誌』44(2)242-243  
 「アルコールの語源クフル粉とバラ水—モロッコ・アラブ医学管見—」泉彪之助『日本医史学雑誌』44(3)397-407  
 「ハスダイ・イブン・シャブルートとカイロ・ゲニザ (抄)」泉彪之助『日本医史学雑誌』44(2)256-257  
 「『露西亜実記』の医療と福祉」上田智夫『北辰』(創刊号) 26-31  
 「医学の歴史を訪ねて 3 ルネサンスの花開きリヨン」大村敏郎『けんさ』28(2)19-22  
 「医学の歴史を訪ねて 4 南仏の医学の都モンペリエ」大村敏郎『けんさ』28(1)27-30  
 「リヨンにおける医学小史 (二) —オテル・ディウとシャリテ— (抄)」小林晶『日本医史学雑誌』44(2)244-245  
 「ドイツ医学は我国にいかにして導入されたか」篠田達明『日

本整形外科学会雑誌』72(8)1473

- 「古代エジプトの医術 エドウィン・スミス パピルス症例 25—下顎脱臼の処方」白幡知尋『手稲溪仁会病院医学雑誌』2(1)89-93  
 「ヨーロッパの精神医学における疾患概念と臨床の歴史的概観」鈴木晃仁『臨床精神医学講座 1』390-405  
 「ドイツの臨床神経学 Romberg から Erb まで (抄)」高橋昭、伊藤泰広『日本医史学雑誌』44(2)238-239  
 「第二次大戦後のドイツ心理学」田中潜次郎『医事学研究』(13) 115-230  
 「W. ハーヴィの精気と「問題」(II) — “Sanguis et spiritus una res” を截り口として—II。ガレノスの空気由来精気に対して」月澤美代子『科学史研究』37(205)39-48  
 「中世における都市文化形成と病院看護の成立に関する研究 ベルギーのゲール・コロニー、ファミリーケアの歴史を通して」遠矢福子、橋本明、山本明弘、他『福井県立大学看護短期大医学部論集』(7)1-11  
 「クラゲンフルトのペスト塔」羽生順一『STETHOSCOPE』(151)2-3  
 「アメリカの明治村ウィリアムバーグと医薬のシンボル」古川明『杉並区医師会雑誌』(7)121-127  
 「ドイツ・オーバーアマガウのキリスト受難劇」古川明『杉並区医師会雑誌』(6)197-205  
 「アメリカ精神医学における疾患概念と分類の歴史的概観」丸

田俊彦『臨床精神医学講座1』406-415

「異文化との出会い—オランダ・カピタンの「謁見」について—」ヴォルフガング・ミヒェル『洋学史研究』(15)1-11

### 37 生理学史

「身体組成に関する研究史と研究分野」小宮秀一『健康科学』20, 1-8

「小動物臨床家のための運動生理学 運動生理学の歴史 体力の定義 持久力とは 走運動の生理学的機構 四足動物の走動作 四足動物の歩行速度」藤原弘『小動物臨床』17(5) 7-16

### 38 地方史

「大垣の医師たち」『愨齋研究会だより』(80)1

「埼玉県医史跡めぐり 60 回記念特集」石原昂『埼玉保険医新聞』(302)

「埼玉県医史跡めぐり(62)~(64)学校衛生の祖 三島通良」石原昂『埼玉保険医新聞』(305-307)

「資料 「普救類方」に観るかもしれない—市民課ロビーの剝製かもしれない—」岩治勇一『奥越史料』(27)140-142

「開拓使本庁及び札幌県における医術開業免状」島田保久『北辰』(創刊号) 32-39

「肥後の医育史」嶋津清三郎『日本東洋医学雑誌』49(2) 167-176

「三河地方における錦小路家門人組合について」杉立義一『啓迪』(16)18-24

「明治末期の西区の医師名」長門谷洋治『大阪市西区医師会 50 周年記念誌』94-98

「土佐藩足輕・岡本兵衛の戦病死をめぐって(抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』44(1) 151-152

「船舶移送をうけた奥羽出張病院患者の転帰(抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』44(3) 436-437

「北陸地方における天狗爪石の記録(前編)」正橋剛二『北陸医史』19(1) 48-60

「金沢区の医学史(抄)」松本龍二『神奈川医学会雑誌』25(2) 349

「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その67-70)」森重孝『鹿児島市医報』37(2, 3, 5, 6) 63-64, 64-66, 54-55, 53-57

「開拓使時代の医療」吉田信『北辰』(創刊号) 13-17

### 39 治療史

「治療の歴史 更年期とホルモン補充療法」阿部徹良『治療学』32(11) 1459-1462

「日本の妊娠中毒症治療」今泉清『漢方の臨床』45(12) 101-108

「肺気腫に対する lung volume reduction surgery 肺気腫に対する外科治療の歴史」大畑正昭『日本胸部臨床』57(3) 175-180

- 「輸血をめぐる諸問題 輸血の歴史」大村敏郎『外科』60(2) 131-135
- 「治療の歴史 老年者の心臓血管外科手術の成績と予後」岡田昌彦、井野隆史『治療学』32(7)937-941
- 「带状疱疹と带状疱疹後神経痛 抗ヘルペスウイルス薬開発の歴史」加藤一也『LiSA』5(7)660-663
- 「治療の歴史 気管支拡張薬」上川雄一郎『治療学』32(1) 121-123
- 「安全な浣腸の技術 浣腸の技術の歴史をたどる」川島みどり『ナースング・トゥデイ』13(9)10-12
- 「Medical Aromatherapy 科学的アプローチ アロマセラピーの歴史」川端一永『ペリネイタルケア』17(2)171-176
- 「生体肝移植児のケア 現況と今後の展望をめぐって 肝移植の歴史」河原崎秀雄『小児看護』21(1)77-80
- 「エピソードで綴る薬物療法の歴史」北里一郎『歯科薬物療法』17(3)181-184
- 「治療の歴史 心筋症」木全心一『治療学』32(9)1211-1218
- 「物理療法 今と昔 欧米における超音波療法の発展」木村貞治『理学療法ジャーナル』32(12)917-925
- 「メガトリアルからみた高血圧の治療 降圧両方のメガトリアルの歴史」蔵本築『循環器科』43(6)465-473
- 「治療の歴史 ニフェジピン」齊田孝市『治療学』32(2)239-242
- 「ニトログリセリン物語①②」酒井シヅ『Novartis Cardio

Journal』9-10, 11

- 「物理療法 今と昔 我が国における物理療法の変遷」嶋田智明『理学療法ジャーナル』32(12)901-910
- 「当院の透析療法の歴史的考察と将来の展望」高岩正至『米沢市立病院医学雑誌』17(1)8-13
- 「物理療法 今と昔 光線療法の今と昔」田口順子『理学療法ジャーナル』32(12)926-932
- 「医療今昔物語 学説・診療の変遷 118 緩和医療」谷荘吉『臨床科学』34(6)829-835
- 「治療の歴史 薬物治療における血中薬物濃度測定 (TDM)」谷川原祐介『こころの科学』32(3)433-438
- 「脂質メディエーター研究の歴史」永井博式『Therapeutic Research』19(3)493-505
- 「自己血輸血の歴史と脳神経外科」永井政勝『脳神経外科』26(12)1117-1122
- 「アレルギー免疫療法 (特異的減感作療法) の新局面 アレルゲン免疫療法の過去、現在、未来」中川武正『アレルギー科』6(6)441-448
- 「医療今昔物語 学説・診療の変遷 121 温泉療法の歴史」中澤修『臨床科学』34(10)1427-1434
- 「胃癌に対する化学療法の実際 胃癌の化学療法 とくに補助化学療法の歴史的展望と今後の課題」中島聰總『消化器外科』21(8)1285-1292
- 「物理療法 今と昔 電気刺激療法の過去と現在」濱出茂治

- 『理学療法ジャーナル』32(12)911-916
- 「臍帯血管細胞移植 歴史、現状と将来」原寿郎『日本新生児学会雑誌』34(4)711-714
- 「十九世紀アメリカ医学における瀉血(抄)」藤倉一郎『日本医史学雑誌』44(2)252-253
- 「治療の歴史 糖尿病合併症の予防と治療」堀田饒『治療学』32(4)561-567
- 「ピルの使用をめぐる ピルの開発と歴史」本多洋『思春期学』16(4)496-500
- 「リプロ・ヘルス 経口避妊薬の歴史」本多洋『産婦人科治療』77(6)643-647
- 「抗血栓薬療法 基礎から臨床まで 抗血栓薬療法の歴史」松田保『循環科学』18(8)710-712
- 「陣痛促進剤の歴史について」水田正能『鳥取医学雑誌』26(3)174
- 「てんかんの薬物療法の歴史と最近の動向」八木和一『臨床精神薬理』1(6)575-582
- 「治療の歴史」八木沢幹夫『耳鼻咽喉科展望』41(補冊)43-44
- 「温泉の医学的利用 九州大学温泉治療学研究所の取り組みの歴史と今後の展望」安田正之『温泉科学』48(3)94-97
- 40 伝 記
- 「赤城信一について(第三報)(抄)」上田智夫、小竹英夫、宮

- 下舜一、吉田信『日本医史学雑誌』44(2)286-287
- 「ローレツの通弁・朝山義六」小関恒雄『医譚』(90)4274-4278
- 「アヴィセンナ『医学の歌』「完結」」志田信男(解説・訳注)『伝承と医学』14(4)4-17
- 「古典あれこれ 『医学典範』を著したアラビア医学の泰斗アビケンナ」犬山征夫『Johns』14(3)438-443
- 「荒川保雄 虱に賭けた40年の生涯」佐分利保雄『神奈川医学会雑誌』25(1)154-155
- 「アルプレヒトの箱館在勤をめぐる」谷澤尚一『北辰』(創刊号)4-12
- 「シリーズ続名医の足跡を訪ねて⑩色覚検査表を開発した石原忍」『Medical Tribune』31(7)14
- 「歯科医になった“西南ノ役の美少年”＝一井正典先生の顕彰記念碑建立さる＝」松本晋一『日本歯科医史学会々誌』22(2)83-88
- 「新村雄一先生をしのびて」金森ひろたか『医学史研究』(73)35
- 「医師ウオレンとバンカーヒルの戦い」古川明『STETHOSCOPE』(152)5-10
- 「生薬学者 内海蘭溪」奥村武『JMC』(67)34-35
- 「医学史探訪 心電図学を創始したエイントホーフエンの絃電流計」二宮陸雄『Nikkei Medical』(11)178-179
- 「エルドリッジ口授ノート(1)」小竹英夫『北辰』(創刊号)22-25

- 「原病学各論 亜爾茂聯斯の講義録 第4編—第6編」松陰宏、近藤陽一、松陰崇、松陰金子『三重県立看護大学紀要』235-43, 45-54, 55-65
- 「大隈重信の切断手術から健康生活へのセルフケアに関する研究(抄)」坪井良子『日本医史学雑誌』44(3)432-434
- 「太田正雄(木下奎太郎)の医学ノートについて(抄)」黒川一郎、島田保久、吉田信『日本医史学雑誌』44(2)194-195
- 「尾張「洋学所」の成立と展開—伊藤圭介関係文書を中心として—」土井康弘『日蘭学会会誌』23(1)83-106
- 「賀川玄悦とその医術」安井広迪『漢方の臨床』45(8)10-26
- 「医師・加藤時次郎と横浜(抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』44(2)192-193
- 「故 加藤豊明先生」多留淳文『北陸医史』19(1)1-2
- 「日本大学歯学部と川合渉(抄)」宮本康子、山口秀紀、渋谷鉦、谷津三雄、工藤逸郎『日本歯科医史学会々誌』22(3)181-182
- 「衛生技官川畑秀太郎の日記—明治・大正・昭和初期の薬事行政の一断面—」川畑秀信『薬史学雑誌』33(2)181-186
- 「古典あれこれ 二度にわたりノーベル賞に輝いたキュリー夫人の生涯と仕事—第1部、第2部—」犬山征夫『Johns』14(8,9)1132-1138, 1360-1366
- 「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医100人連載 48 郭雍(クオ ヨン)」『漢方医薬新聞』(236)4
- 「フレンシス・グリソン」羽生順一『STETHOSCOPE』(153)

2-3

- 「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医100人連載 51 寇宗奭(コウ ソンシー)」『漢方医薬新聞』(244)6
- 「特集 後藤新平と保健の科学 医学史上の後藤新平」酒井シヅ『保健の科学』40(12)938-942
- 「特集 後藤新平と保健の科学 後藤新平—「医」が副職、「政」が主職の英傑—」花山寛美『保健の科学』40(12)949-951
- 「特集 後藤新平と保健の科学 後藤新平の健康観」小野寺伸夫『保健の科学』40(12)932-937
- 「鍼灸老舗の人々 83-84 駒井一雄 16, 17」上地栄『医道の日』57(2-3)228-231, 208-211
- 「難聴・形態・機能 内耳コルティ器官のコルティについて」萬年甫『細胞』30(12)480-483
- 「モルヒネの発見者ザーチュルナーの史蹟」田端守『薬史学雑誌』33(1)9-17
- 「齋藤玉男—断種法史上の人びと(その1)—(抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』44(1)153-155
- 「循環器疾患研究を支えた人々 齋藤十六」増田善昭『Cardiac Practice』9(4)489-491
- 「佐伯理一郎と京都(九)『普通看病学』について(3)」長門谷洋治『啓迪』(16)11-17
- 「佐藤運雄先生の写真から(抄)」加來洋子、宮本康子、渋谷鉦、谷津三雄、工藤逸郎『日本歯科医史学会々誌』22(3)159
- 「佐藤運雄先生八十歳祝賀会(抄)」加來洋子、宮本康子、渋谷

谷鉞、谷津三雄、工藤逸郎『日本歯科医学学会々誌』22(3) 158

「佐藤運雄の理念とその展開 (抄)」工藤逸郎『日本歯科医学学会々誌』22(3)133

「クロフォード F. サムス大佐の人と業績 (抄)」吉見契子、鈴木明子『日本医学雑誌』44(2)282-283

「古典あれこれ シーボルトをめぐる」廣瀬肇『Johns』15(1)134-138

「von Sieboldの発見された文書 II部”Von siebold 事件”から没収された品のリスト」Takenoshita Seiichi, Vos Frits, van Gulik W.R., 他『The Kitasato Medical Journal』48(1)59-67

「von Sieboldの発見された文書 (第三部) P.F. von Siebold 日本、日本人との交友、及び間宮林蔵への発見された手紙についての彼の研究 (英文)」Takenoshita Seiichi, Vos Frits, van Gulik W.R., 他『The Kitakanto Medical Journal』48(4)315-324

「シーボルトの書簡IV 1823年から1828年の間にフォン・シーボルトにより収集された日本及び近隣諸国の物品リストのまとめ (英文)」Takenoshita Seiichi, Vos Frits, Gulik W.R., Kuwano Hiroyuki, Narita Chikako, Nagamachi Yukio, Mizoguchi Yoichiro, Hata Shinji『The Kitasato Medical Journal』48(6)485-492

「医学の散歩道「ジェンナーを訪ねて」(1)「第1号はわが子

という伝説」深瀬泰旦『婦長主任新事情』(50)3

「医学の散歩道「ジェンナーを訪ねて」(2)現存する自筆原稿」深瀬泰旦『婦長主任新事情』(52)3

「医学の散歩道「ジェンナーを訪ねて」(3)ジェンナーは「一介の田舎医者」か」深瀬泰旦『婦長主任新事情』(54)3

「医学の散歩道「ジェンナーを訪ねて」(4)心臓学者でもあったジェンナー」深瀬泰旦『婦長主任新事情』(56)3

「医学の散歩道「ジェンナーを訪ねて」(5)一級の博物学者ジェンナー」深瀬泰旦『婦長主任新事情』(58)3

「医学の散歩道「ジェンナーを訪ねて」(6)牛痘法のプライオリティ」深瀬泰旦『婦長主任新事情』(59)3

「医学の散歩道「ジェンナーを訪ねて」(7)熱気球の先駆者ジェンナー」深瀬泰旦『婦長主任新事情』(61)3

「医学の散歩道「ジェンナーを訪ねて」(8)純粋な吐酒石の製法」深瀬泰旦『婦長主任新事情』(63)3

「医学の散歩道「ジェンナーを訪ねて」(9)クック船長の標本整理依頼」深瀬泰旦『婦長主任新事情』(65)3

「柴田収蔵年譜考」高橋勇市『洋学史研究』(15)65-80

「『七新薬』と司馬凌海 西欧式薬物治療日本への導入事始め」高橋昭『神経治療学』15(3)225-230

「古典あれこれ Chevalier Jacksonと異物摘出」廣瀬肇『Johns』14(1)102-104

「医学史探訪 シャルコーと筋委縮性側索硬化症」二宮陸雄『Nikkei Medical』(7)164-165

- 「医学史探訪 シャルコーの臨床神経病学講義」二宮陸雄  
『Nikkei Medical』(5)194-195
- 「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医 100人連載 44 許叔微  
(シュー シューウエイ)」『漢方医薬新聞』(230)4
- 「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医 100人連載 42 蘇頌(ス  
ー ソン)」『漢方医薬新聞』(226)5
- 「杉田玄白の偉業—『蘭学』、ここに始まる—」酒井シヅ『壽』  
19(10)100-103
- 「杉田玄白の身辺をめぐる」中西淳朗『神奈川県保険医新聞』  
(1397)付録 2-3
- 「杉田玄白の養生法」片桐一男『洋学史研究』(15)81-92
- 「鈴木正三と医療(抄)」杉田暉道『神奈川医学会雑誌』25(2)  
349
- 「済生学舎出身の生化学者、旧制金沢医科大学学長「須藤憲三」  
について(抄)」唐沢信安『日本医史学雑誌』44(2)190-191
- 「古典あれこれ 聴覚を失った後も名曲を作り続けたベドジ  
フ・スメタナ」犬山征夫『Johns』14(5)732-737
- 「人と時代 中国の偉大な生化学者 曹天欽博士 (I) ミスタ  
ー・トロポミオシン」江橋節郎『ミクロスコピア』15(3)  
156-161
- 「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医 100人連載 50 載思恭  
(タイ シーコン)」『漢方医薬新聞』(240)6
- 「高木兼寛の脚気栄養説が国際的に早くから認められた事情  
それがビタミン発見の契機になった」松田誠『東京慈恵会

- 医科大学雑誌』113(3)225-240
- 「『酬医頓徳』に見られる田代三喜の医説(1)—「牛八」、「三婦」  
の意義—」遠藤次郎、中村輝子、梁永宣、奈倉道治『日本  
医史学雑誌』44(1)73-00
- 「「導道・三喜別人説」の検討」遠藤次郎、中村輝子『日本医  
史学雑誌』44(4)481-498
- 「宇和島藩医・谷世範の長男、谷泰吉について—特に府立大阪  
病院廃止事件(明治22年3月)における関わりから—」谷荘  
吉『医学史研究』(73)25-32
- 「ロブリー・ダングリソンの医学事典と明治初期の英米医学」  
深瀬泰旦『洋学史通信』(11)2
- 「後法興院記」に表れる丹波親康の事跡について(抄)戸出  
一郎、大熊毅、佐藤恭道、別部智司、雨宮義弘『日本歯科  
医史学会々誌』22(3)177
- 「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医 100人連載 45 銭仲陽  
(チェン ツオンヤン)」『漢方医薬新聞』(231)3
- 「清医趙淞陽について—1726~1729年の長崎での逸事—」郭  
秀梅『日本医史学雑誌』44(2)60-61
- 「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医 100人連載 49 陳言(チ  
ョン イエン)」『漢方医薬新聞』(238)5
- 「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医 100人連載 43 成無己  
(チョン ウーイー)」『漢方医薬新聞』(229)6
- 「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医 100人連載 47 陳白明  
(チョン ツーミン)」『漢方医薬新聞』(234)6

- 「一坪井信道賛—川原慶賀のヒポクラテス画像 (抄) 和田和代史『日本医史学雑誌』44(2)198-199
- 「先達医家の肖像 <80> Karl Thiersch(1822-1895)」酒井シヅ『Medical Digest』(356)巻末
- 「医学史探訪 デュシェンヌの筋肉電気刺激診断法」二宮陸雄『Nikkei Medical』(3)176-177
- 「先達医家の肖像 <79> Gerhard Johannes Paul Domagk (1895-1964)」酒井シヅ『Medical Digest』(355)巻末
- 「先達医家の肖像 <81> Ludwig Traube(1818-1876)」酒井シヅ『Medical Digest』47(357)巻末
- 「古典あれこれ 咽喉結核で逝ったロマン派絵画の巨匠ウジェーヌ・ドラクロワ」犬山征夫『Johns』14(12)1768-1774
- 「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医 100 人連載 40 董奉 (トン ファン)」『漢方医薬新聞』(224)5
- 「先達医家の肖像 <76> Albert Neisser(1855-1916)」酒井シヅ『Medical Digest』(352)巻末
- 「追悼 中川米造大阪大学名誉教授」石原理年、石田純郎、中島憲子『医譚』(90)4263-4267
- 「祖父・長与専斎と医制改革案の但し書」長与健夫『漢方の臨床』45(1)137-144
- 「長岡の生んだ医学者・政治家 長谷川泰伝 (其の八) 一瀬狂院・伝染病研究所・京都帝国大学創立について」唐沢信安『長岡郷土史』(35)152-163
- 「シリーズ続名医の足跡を訪ねて⑩化学療法を確立した秦佐

- 八郎』『Medical Tribune』31(2)14
- 「春林軒」復元と記念館設立並びに華岡青洲略伝」華岡青洲『北辰』(創刊号)18-21
- 「地藏寺過去帳による華岡青洲の系譜の新知見 (抄)」松木明知『日本医史学雑誌』44(2)276-277
- 「ケルスス『医学論』〔翻訳〕(13)」石渡隆司、小林晶子『医事学研究』(13)37-35
- 「医学の歴史を訪ねて 4 パレの肖像とその彫刻家」大村敏郎『けんさ』27(4)19-22
- 「John Hunter (1728-1793) について (抄)」青木國雄『名古屋医史談話会』(19)1-5
- 「現代に生きるヒポクラテス医学」近藤均『オルタナティブ・メディシン』2(3)47-50
- 「欧米における自然医学の歴史 ヒポクラテス医学」中島文保『マニピュレーション』13(1-4)98-104, 111-118, 92-98, 90-96
- 「最近発見したヒポクラテス画像と賛文について (抄)」蒲原宏『日本医史学雑誌』44(2)196-197
- 「医学史探訪 ヴェサリウスを神と讃えたファロピオ」二宮陸雄『Nikkei Medical』(1)142-143
- 「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医 100 人連載 39 樊阿 (ファン ア)」『漢方医薬新聞』(223)3
- 「古典あれこれ 外科医の地位向上に貢献したルイ 14 世の主席外科医フェリックス」犬山征夫『Johns』14(11)1636-1642

- 「福澤諭吉先生と医学」土屋雅春『犯罪学雑誌』64(3)85-96
- 「師を語る 遊戯(ユゲ)を友として 平衡生理学の哲人、福田精先生」牛尾信也『ミクロスコピア』15(3)162-169
- 「Fujikawa Yu, Pioneer of the History of Medicine in Japan (英文)」MATSUMURA Noriaki, HIRONO Yoshiyuki, MATSUBARA Yoko『Historia Scientiarum』8(2)157-171
- 「ヨーロッパに Moxia (もぐさ) を紹介したバタビアの牧師—ヘルマン・ブショフの生涯と著作について—」ミヒェル・ヴォルフガング『日蘭学会会誌』23(1)47-64
- 「医学史探訪 喘息に苦しんだ虚弱な大作家マルセル・ブルースト」二宮陸雄『Nikkei Medical』(8)170-172
- 「哲学者 Hegel と医学 医学史と医学的人文 medical humanities をめぐって」濱中淑彦『名古屋市立大学医学会雑誌』49, 2-3
- 「医道そぞろ歩き 医学史の視点から ベーコンの「学問の進歩」への道」二宮陸雄『Medicina』35(3)572-573
- 「ヘボン博士と日本の夜明け 一横浜と明治学院—」高安伸子『JMC』(70)34-35
- 「ベルツ日本への最後の旅」小関恒雄『日本醫事新報』(3863)41-43
- 「クロード・ベルナルを問う (2-4) 現代医学を問う」瀬江千史『総合看護』33(2-4)51-62, 89-99, 100-107
- 「ボードインの処方」宮崎正夫『薬史学雑誌』33(1)29-34
- 「昭和の漢方医豊浦郡の細迫陽三先生について」武内節夫『山口県医学会誌』(32)238
- 「本間玄調について」荒井保男『神奈川医学会雑誌』25(1)154
- 「モーゼス・マイモニデスの生涯 (上) (下)」泉彪之助『日本医史学雑誌』44(1, 3)27-48, 351-368
- 「適塾の塾頭をした筑後久留米藩医松下元芳」中山茂春『日本医史学雑誌』44(3)409-414
- 「松平忠信の西洋画観」磯崎康彦『洋学史研究』(15)12-18
- 「松本順と北海道—特にその来道と足取りを追って (抄)」宮下舜一『日本医史学雑誌』44(2)284-285
- 「故三浦豊彦先生を偲んで 三浦豊彦先生のご逝去を悼む」木村菊二『労働の科学』53(6)391-395
- 「故三浦豊彦先生を偲んで 三浦豊彦先生の労働衛生研究に学んで」小木和孝『労働の科学』53(6)390
- 「振動障害の研究と予防の先駆け—三浦先生を偲ぶ」山田信也『労働の科学』53(6)396-397
- 「追悼 三浦豊彦先生」野村茂『医学史研究』(73)36
- 「追悼三浦豊彦博士」『労働科学』74(5)179-180
- 「三浦豊彦先生と労働衛生史」野村茂『労働の科学』53(6)398-399
- 「三浦豊彦博士と労働科学」木村菊二『労働科学』74(5)181-184
- 「昭和医専の水原秋櫻子」守屋明俊『俳句文学館紀要』(10), 115-136

- 「日本人の英語論文を育てた溝口歌子の生涯 その一」藤崎千代子『ミクロスコピア』15(3)118-125
- 「日本人の英語論文を育てた溝口歌子の生涯 その二 科学英語の時代がやってきた」藤崎千代子『ミクロスコピア』15(4)284-292
- 「シリーズ続名医の足跡を訪ねて⑩日本の内臓外科学の泰斗三宅速」『Medical Tribune』31(11)14
- 「向井元升の事蹟とその家族」難波恒雄『漢方の臨床』45(11)73-96
- 「目賀田種太郎のアメリカ留学—明治初期における洋学の開花—」長沼秀明『洋学史研究』(15)49-64
- 「医学史探訪 主治医が明かした晩年の素顔毛沢東(1893~1976)」二宮陸雄『Nikkei Medical』(10)161-163
- 「鷗外と保健の科学 医師としての森鷗外」酒井シヅ『保健の科学』40(6)451-456
- 「鷗外」『森鷗外記念会』(63)
- 「鷗外と保健の科学 今注目される鷗外の栄養学 鷗外が100年前に仕掛けた栄養学ビッグバン」山下光雄『保健の科学』40(6)469-473
- 「鷗外と保健の科学 森鷗外の公衆衛生と保健学」丸井英二『保健の科学』40(6)474-479
- 「鷗外と保健の科学 鷗外の作品と衛生学」清田文武『保健の科学』40(6)457-462
- 「鷗外と保健の科学 鷗外の作品と衛生学」清田文武『保健の

- 科学』40(6)457-462
- 「鷗外と保健の科学 外国での鷗外評価」長谷川泉『保健の科学』40(6)444-450
- 「鷗外と保健の科学 留学目的とライプチヒでの衛生学研修」武智秀夫『保健の科学』40(6)463-468
- 「鷗外の「甘暝の説」(抄)」高橋正夫『日本医史学雑誌』44(2)260-261
- 「明治初期の啓蒙医家森鼻宗次(抄)」中山沃『日本医史学雑誌』44(2)188-189
- 「放射能研究に殉じた山田延男の生涯(第1報) —ラジウム発見100年に因んで—」山田光男『薬史学雑誌』33(2)136-140
- 「追悼 山中太木日本医史学会関西支部長」杉立義一、半井英江、奥沢康正『医譚』(90)4258-4262
- 「科学技術の開拓者たち vol. 25 日本最初の人体解剖書 —一七五九年出版、山脇東洋の『蔵志』」月澤美代子『科学技術ジャーナル』7(5)42-43
- 「吉田富三—吉田肉腫によるガンの動物実験的研究—」月澤美代子『科学技術ジャーナル』7(10)44-45
- 「医学史探訪 銀幕の「タフガイ」を襲った晩年の病パート・ランカスター(1913~1994)」二宮陸雄『Nikkei Medical』(12)170-172
- 「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医100人連載46 李慶嗣(リ チンシ)」『漢方医薬新聞』(233)5
- 「李東垣の瀉血療法(抄)」友部和弘『日本医史学雑誌』44(2)

220-221

「戦争と科学者—レントゲン教授の場合—」上野陽里『医学史研究』(73)1-6

「日本の現代医学のミッシング・リンク 岡山のロイトル (1870-71) を糸口とする史的経緯」石田純郎『Gastroenterological Endoscopy』40(Suppl.)1529

「先達医家の肖像 <77> Carl von Rokitansky (1804-1878)」酒井シヅ『Medical Digest』(353)巻末

「先達医家の肖像 <78> Moritz Heinrich Romberg (1795-1863)」酒井シヅ『Medical Digest』(354)巻末

「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医 100 人連載 41 王惟一 (ワン ウェイイー)」『漢方医薬新聞』(225)5

#### 41 伝記(双)

「浅田宗伯と清国駐日公使館の人たち(抄)」陳捷『日本医史学雑誌』44(2)268-269

「二人の病理学者、アショフとレスレ」梶田昭『日本医事新報』(3871)55-59

「足立長雋の祖為春先生と乗附為春海鏡(抄)」石原力『日本医史学雑誌』44(2)208-209

「洪庵と適塾の人々」多田羅浩三『医学検査』47(3)222

「特集 後藤新平と保健の科学 鷗外と後藤新平の出遇とすれちがい」長谷川泉『保健の科学』40(12)959-964

「Henry Bence Jones (1813-1873), Florence Nightingale

(1820-1910) そして Leo Nikolavevich Tolstoj (1828-1910)」加納正『医学と薬学』40(3)466

「杉田玄白と Lorenz Heister」酒井シヅ『Mamma』(31)表2  
「1910 年以前の在韓宣教医(抄)」高安伸子『日本医史学雑誌』44(2)290-291

「陳外郎関係史料集(稿)・解題—京都陳外郎を中心に—」藤原重雄『東京大学日本史学研究室紀要』(2)29-82

「徳川慶喜の奥医師の生誕地とその周辺(抄)」木村専太郎『日本医史学雑誌』44(2)288-289

「大村藩の古田山と長与俊達、大浦嘯山(抄)」長与健夫『日本医史学雑誌』44(2)206-207

「公衆衛生の啓蒙家 森鷗外と私」James A. WREN、武智秀夫(訳)『ミクロスコピア』15(1)48-58

「東洞の二人の門人(岑少翁と村井琴山)」西岡一夫『漢方の臨床』45(12)174-188

#### 42 伝染病史・防疫史

「中日両国に於ける古代の疫病流行について(抄)」邵沛『日本医史学雑誌』44(2)214-215

「ペスト残影地誌学(一ノ二)」滝上正『科学医学資料研究』(292)2-4

「ライン川中流域に「ペスト残影」を求めて(抄)」滝上正『神奈川医学会雑誌』25(1)155

「20 世紀の医学をふりかえる 感染症との闘い」竹田美文『か

らだの科学』(200)58-61

「性病予防行政史 一戦後の激動期を中心に一(抄)」長門谷洋治、坂上俊之『日本医史学雑誌』44(2)280-281

「明治一二年沖縄県のコレラ流行 一土屋寛信の『琉球紀行』から(抄)」深瀬泰旦、真柳誠『日本医史学雑誌』44(2)292-293

「疫学の定義、考え方、歴史的な疫学の功績」山根逸郎『臨床獣医』16(4)67-72

### 43 東洋医学史・伝統医学史

「漢方史探訪 第57回一第59回 主流派(一)一(三)」赤堀昭『協力会だより』(秋・冬号新年号、春号別刷)

「方技概説一中国古代医学の特徴一(上・下)」家本誠一『神奈川医学会雑誌』25(1,2)1-12, 169-179

「中医学の成立・流派・中西結合に関する私見」生島忍『鍼灸OSAKA』14(3)255-257

「聖雪域の医学 チベット医学をヒマラヤの南北から見る」池上正治『アーユルヴェーダ研究』(28)32-34

「最近の漢方治療と心身症 東洋医学と西洋医学」伊藤剛、花輪壽彦『心身医療』10(3)295-299

「目でみる漢方史料館(124) 曲直瀬道三著『切紙』の再検討一『探頤集』との比較検討一」遠藤次郎、中村輝子『漢方の臨床』45(9)10-22

「インド医学の伝統と構造」大塚恭男『アーユルヴェーダ研究』

(28)89-95

「日中医学交流史に由来する人体各部の名称その他の共通点と相違点について」小野昭人『日本放射線技師会雑誌』45(4)595-609

「清医 趙淞陽について一一七二六～一七二九年の長崎での逸事一(抄)」郭秀梅、岡田研吉『日本医史学雑誌』44(2)232-233

「目でみる漢方史料館(118) 新出の敦煌医学文書一はたして『素問』か」小曾戸洋『漢方の臨床』45(3)2

「目でみる漢方史料館(121) 蘭門五哲の書幅」小曾戸洋、町泉寿郎『漢方の臨床』45(6)2

「卷子写本から宋元版へ一中世日本における中国医書受容の様相一」小曾戸洋『日本医史学雑誌』44(4)451-480

「田中弥性園所蔵の善本古医籍(明版)(抄)」小曾戸洋、田中祐尾『日本医史学雑誌』44(2)234-235

「[眩暈]から見た各古典の病理観の相違」小高修司『漢方の臨床』45(6)75-84

「仏教の起源は西アジア？インド医学の源流は？」佐藤任『アーユルヴェーダ研究』(28)67-69

「元代の三皇廟について(抄)」秦玲子『日本医史学雑誌』44(2)222-223

「西藏人民出版社版『四部医典』系列挂図全集に基づくチベット医学の尿診断に関するノート」杉山広重『漢方の臨床』45(7)94-107

- 「アーユルヴェーダとプラセボ」津谷喜一郎『アーユルヴェーダ研究』(28)2842-2866
- 「中国の雑誌「医学と哲学」について その歴史・内容・評価(上)」函亜、津谷喜一郎『漢方の臨床』45(11)286-293
- 「江戸期「鍼医術」における病源体としての「虫」について」飛見立郎『北陸医史』19(1)20-27
- 「古代中国医学の精神と明堂」槇佐知子『医道の日本』57(11)139-141
- 「金匱玉函経不可篇の研究(第3報)」牧角和宏『福岡医師漢方研究会会報』19(6)7-19
- 「宋板傷寒論不可篇の成立について(抄)」牧角和宏『日本医史学雑誌』44(2)228-229
- 「目でみる漢方史料館(116) 小川泰山画・亀田鵬斎賛『神農図』」町泉寿郎『漢方の臨床』45(1)2
- 「目でみる漢方史料館(117) 中村正直あて浅田宗伯書簡」町泉寿郎『漢方の臨床』45(2)3
- 「目でみる漢方史料館(122) 村井琴山の文人趣味」町泉寿郎『漢方の臨床』45(7)2
- 「『本草綱目』の日本初渡来記録と金陵本の所在」真柳誠『漢方の臨床』45(11)47-56
- 「目でみる漢方史料館(119), (120) 松岡玄達自筆の浅井周伯講義録(1), (2)」真柳誠『漢方の臨床』45(4)2
- 「目でみる漢方史料館(123) トルファン出土の『耆婆五藏論』と『諸医方髓』」真柳誠『漢方の臨床』45(8)2

- 「目でみる漢方史料館(124) 台北故宫博物院所蔵の『啓迪集』古鈔本」真柳誠『漢方の臨床』45(9)2
- 「目でみる漢方史料館(125)、(126) 北京図書館蔵・多紀元堅ら手沢の古医籍(1)、(2)」真柳誠『漢方の臨床』45(10,11)2
- 「日本鍼灸医事年表(1) 神祇時代—江戸時代」南谷旺伯『医道の日本』57(2)235-245
- 「日本鍼灸医事年表(2) 明治時代—昭和23年」南谷旺伯『医道の日本』57(3)222-237
- 「目でみる漢方史料館(127) 山田業広『扁鵲倉公伝集解』自筆本」宮川浩也『漢方の臨床』45(12)2
- 「台湾の伝統医学」宮崎瑞明『漢方の臨床』45(11)115-124
- 「東静漢方シンポジウム記録(平成9年7月12、13日 於：熱海) “吉益南涯と気血水説”」安井広迪『東静漢方研究室』21(3)1-35
- 「ビタミンの発見に対する漢方医学の貢献(抄)」山下政三『日本医史学雑誌』44(1)152-153
- 「ことわざ東洋医学 24 急病に悪日無し—その四—」山本徳子『医道の日本』57(2)196-197
- 「ことわざ東洋医学 25 初五六や中の四五八地藏の日末の七九は死病長病」山本徳子『医道の日本』57(4)176-177
- 「ことわざ東洋医学 26 病は口より入り、禍は口より出ず」山本徳子『医道の日本』57(9)194-195
- 「中国文化における医学史 伝統医学から西洋医学へ(1-4)」

- 吉田荘人『東洋医学』26(5-8)72-74, 92-93, 85-87, 89-91  
 「中国文化における医学史 明清時代の医薬学の新発展 (5-7)」吉田荘人『東洋医学』26(2-4)81-85, 83-85, 84-86  
 「中国伝統医学と道教 (第十九回) 「符」(抄)」吉元昭治『日本医史学雑誌』44(2)212-213

#### 44 内科史

- 「循環器疾患の大規模臨床試験 介入研究を中心として 循環器疾患の介入試験の歴史」上島弘嗣『循環科学』18(10)902-905  
 「日本における神経内分泌学の歴史 (英文)」Kimura Fukuko『日本内分泌学会雑誌』74(2)411  
 「日本消化器心身医学の歴史と展望」河野友信『消化器心身医学』5(1)9-14  
 「房室結節をめぐる最近の展開 歴史的経緯と問題点」小西與承『心電図』18(2)139-145  
 「老年学と Gerontophilately (3)」小林佑吉『STETHOSCOPE』(154)2-3  
 「医療今昔物語 学説・診療の変遷 119 B型肝炎」鈴木宏『臨床科学』34(7)960-966  
 「心療内科からみた薬物療法の歴史と発展」筒井末春『心身医学』38(1)11-18  
 「間質性肺炎の新しいとらえかた 間質性肺炎研究の歴史と概念の変遷」長井苑子『臨床医』24(12)2366-2371

- 「医療今昔物語 学説・診療の変遷 120 赤痢」中瀬安清『臨床科学』34(8)1096-1104  
 「腎臓学をめぐるエピソード Dr. Alport とロンドン」野村信介『日本腎臓学会誌』40(4)235-239  
 「免疫学入門 腫瘍免疫 概説 歴史的展望 (2)」橋本嘉幸『免疫学 Immunology Frontier』8(2)111-120  
 「循環器疾患の分子生物学的アプローチ 基礎から臨床まで 歴史 循環器疾患における分子生物学的研究の進歩」檜垣實男、荻原俊男『循環科学』18(6)510-513  
 「リウマトイド因子研究の歴史と臨床」廣瀬俊一『リウマチ科』19(3)297-303

#### 45 皮膚科史

- 「歴史の中の皮膚疾患 春日局の人生の大きな節目にいつも関わっていた痘瘡」酒井シヅ(監修)『3°C PLUS ONE』5(3)14-15  
 「歴史の中の皮膚疾患 鉄人の肉体・ワーグナーを生涯にわたって苦しめた「習慣性丹毒」」酒井シヅ(監修)『3°C PLUS ONE』5(2)14-15  
 「歴史の中の皮膚疾患 梅毒のために鼻が欠損「付け鼻」をしたと言われる徳川家康の次男・結城秀康」酒井シヅ(監修)『3°C PLUS ONE』5(1)14-15  
 「日本の光皮膚科学の歴史」佐藤吉昭『皮膚科の臨床』40(9)1355-1360

『外科正宗』での搔痒症関連瘡傷病と類証の考察 (アレルギー・アトピー性皮膚炎関連) 西脇平士『漢方の臨床』45(12) 192-207

#### 46 泌尿器科史

「尿路結石 7000年の歴史から見た21世紀への展望」郡健二郎『泌尿器科学の最近の進歩』16, 21-28

#### 47 病院学

「絵ハガキで見るパリの古い病院 (5) ヴァル・ドウ・グラーヌ陸軍病院 (パリ5区)」今泉孝『医譚』(90)4311-4313

「病院・旅館・主人・客・敵」内林政夫『薬史学雑誌』33(2) 168-172

「病院と医院」内林政夫『薬史学雑誌』33(2)163-167

「日本の精神病院 精神病院の現在 西欧近代精神病院の発祥 19世紀フランスを中心に」江口重幸『こころの科学』(79)37-42

「日本の精神病院 精神病院の現在 日本における精神病院の歴史」風祭元『こころの科学』(79)26-31

「「病院 [医 (醫) 院]」と「Hospital」」金久保好男、吉野清高、山村重雄『薬史学雑誌』33(1)45-48

「1980～90年代の病院」上林茂暢『日本の科学技術 5-11 国際期 1980-1995』818-833

「シリーズ病院今昔物語 第1回 公立岩瀬病院」高橋喬

『Medical Tribune』31(21)8

「シリーズ病院今昔物語 第2回 永吉の眼科」高橋喬『Medical Tribune』31(25)22

「シリーズ病院今昔物語 第3回 聖バルナバ病院」高橋喬『Medical Tribune』31(29)8

「シリーズ病院今昔物語 第4回 市立函館病院」高橋喬『Medical Tribune』31(34)17

「シリーズ病院今昔物語 第5回 佐賀県立病院好生館」高橋喬『Medical Tribune』31(38)12

「シリーズ病院今昔物語 第6回 山形市立病院済生館」高橋喬『Medical Tribune』31(42)12

「シリーズ病院今昔物語 第7回 東京・胃腸病院」高橋喬『Medical Tribune』31(47)10

「シリーズ病院今昔物語 第8回 市立札幌病院」高橋喬『Medical Tribune』31(51)10

「20世紀の医学をふりかえる 病院の20世紀」多田羅浩三『からだの科学』(200)102-106

#### 49 病理学史

「発癌研究の perspective 20世紀の発癌研究を振りかえって」杉村隆『Molecular Medicine』35(6)698-699

「骨考古学 古病理学の世界 古病理学の歴史 日本における古病理学の黎明(2)」鈴木隆雄『The Bone』12(1)151-157

「病理解剖マニュアル 病理解剖の歴史」難波紘二『病理と臨

床』16 (臨増) 2-6

### 51 仏教医学史

「古代インドの医学と密教—空海のミステリー」佐藤任『医学史研究』(74)50-52

「ケガレの思想の歴史的展開」杉田暉道『神奈川医学会雑誌』25(1)155

### 52 法医学史

「300年経過の資料を用いた伊達家三藩主のDNA解析(英文)」打樋利英子、山本敏充、野澤秀樹、他『日本法医学雑誌』52(2)157-162

### 53 放射線医学史

「ラジウム発見100周年記念論文 初期のラジウム利用の歴史」稲本一夫『放射線医学物理』18(2)137-145

「ラジウム研究とラジウム治療 その歴史的意義」尾内能夫『日本癌学会57回総会記事』38

「20世紀の医学をふりかえる 放射線医学の発展 レントゲンのノーベル賞受賞とその後のあゆみ」佐々木康人『からだの科学』(200)72-75

「医療今昔物語 学説・診療の変遷116 放射線障害」館野之男『臨床科学』34(4)553-565

### 54 本草学史・博物学史

「小野蘭山・蕙畝父孫と幕府医学館の本草学Ⅵ」遠藤正治『慾齋研究会だより』(83)2-7

「瘡朮の品質評価の変遷 (I) 中国本草書について」武田修己、三木栄二、樋口正視、岡田稔『薬史学雑誌』33(1)18-23

「瘡朮の品質評価の変遷 (II) 日本本草書について」武田修己、三木栄二、樋口正視、岡田稔『薬史学雑誌』33(1)24-28

「医の博物館の史料(抄)」中原泉『日本歯科医史学会々誌』22(3)168

「博物館散歩 日本で唯一の医学ミュージアム 医の博物館」西巻明彦『ミクロスコピア』15(1)59-63

「江戸期本草家の北陸への関心(二) 畔田翠山の白山・立山紀行(抄)」正橋剛二『日本医史学雑誌』44(2)210-211

### 55 麻酔学史

「戦陣外科における麻酔と関連事項そのI-II: 第一次世界大戦まで、第一次世界大戦以後(抄)」金山利吉、京田直人、見崎徹、高田耕司、岡俊一、工藤逸郎『日本歯科医史学会々誌』22(3)139-140, 141-142

「日本における脊推麻酔の歴史—昭和二十年以前の研究について(抄)」小谷直樹、松木明知『日本医史学雑誌』44(2)278-279

「亜酸化窒素の麻酔作用の発見者 Sir Humphry Davy 詩人としてのDavyならびに英国ロマン派詩人との交友と亜酸

化窒素(笑気)ガス吸入について」藤田俊夫『麻醉』47(1) 102-106

「産婦人科の麻酔 産婦人科麻酔の歴史」松木明知『産婦人科治療』77(5)500-503

## 57 薬学史

「臨床薬理学の歴史」海老原昭夫『臨床薬理学』29(3)401-405

「正倉院薬壺の形状についての史的考察」奥田潤『薬史学雑誌』33(2)131-135

「古代ヨーロッパの万能秘薬テリアカ」奥田潤、市野和彦『薬史学雑誌』33(2)147-162

「周防国分寺薬師如来像の薬壺の内臓物調査」奥田潤、久田陽一、奥田和代、川村智子、野呂征男、宮田雄史『薬史学雑誌』33(1)49-62

「A Study on Consumers' Pharmacy Selection Factors in the USA」KAMEI, M./OCHI S./NAKAMURA T.『薬史学雑誌』33(1)68-73

「A Survey and Critique of Consumer Perception for Community Pharmacy in the USA during the 1970 s-1990 s」KAMEI, M./ NAKAMURA T.『薬史学雑誌』33(1)63-67

「喜谷実母散・薬効の考察」喜谷喜徳『薬史学雑誌』33(2)173-180

「喜谷実母散・創業の歴史」喜谷喜徳『薬史学雑誌』33(1)78-85

「秘伝の書と喜谷実母散」喜谷喜徳『薬史学雑誌』33(1)86-93  
「道修町発展の歴史 くすりの道修町資料館オープン」久保武雄『ヒューマン・サイエンス』9(1)38-39

「道修町発展の歴史 道修町薬種中買仲間」久保武雄『ヒューマン・サイエンス』9(2)38-39

「道修町発展の歴史 神農さん、薬祖講」久保武雄『ヒューマン・サイエンス』9(3)38-39

「道修町発展の歴史 製薬企業・関連企業の発展」久保武雄『ヒューマン・サイエンス』9(4)38-39

「アスピリンの歩み—誕生100周年を記念して—」古池達夫『薬史学雑誌』33(1)1-8

「昭和初期に柳沢保太郎が残した薬史論文と黎明期の医薬品流通業界再編」古池達夫『薬史学雑誌』33(1)94-96

「ドイツ医薬分業の歴史と今 薬局の合理化と薬剤師」小林大高『調剤と情報』4(7)922-926

「カタカナの売薬の始祖「ウルユス」」酒井シヅ『クリニシアン』45(1)4-7

「島津創業記念資料館を通して 日本にもエジソンがいた—医療用 X 線装置とのご縁」桜井茂男『ヒューマン・サイエンス』9(5)38-39

「島津創業記念資料館を通して 関係者のより安全を願って—医療用 X 線装置の足跡」桜井茂男『ヒューマン・サイエンス』9(6)38-39

「老年期精神障害の薬物投与計画 脳循環代謝改善薬の歴史、

- 分類、薬理作用」高橋明比古『老年精神医学雑誌』9(8)891-897
- 「輸入診断薬の歩み ベーリンガー・マンハイム社の歴史を中心に」高原和子『日本臨床検査自動化学会誌』23(5)629-638
- 「近代日本医薬品産業の発展(その6)江戸時代から明治末期の薬広告について」竹原潤、山田久雄『薬史学雑誌』33(2)141-146
- 「二味の薬徴による薬方の展開図と方意・方格」田畑隆一郎『漢方の臨床』45(11)97-114
- 「治療の歴史 硝酸薬」野中和子、上野昭『治療学』32(6)813-816
- 「江戸時代における樟腦の利用(1)医療における樟腦と龍腦」服部昭『薬史学雑誌』33(2)127-130
- 「新しい薬学の研究の流れの中で第2次大戦後50年の有機元素分析の足跡を考察する(第2報)」馬場芳子『薬史学雑誌』33(2)122-126
- 「丸剤の歴史と当院における丸薬の治療について」原敬二郎『漢方の臨床』45(4)47-61
- 「『玉機微義』における薬物の使われ方(抄)」原田俊介、小曾戸洋、真柳誠『日本医史学雑誌』44(2)226-227
- 「幕末期、富山売薬商薩摩組の抜荷取引の実態—蜜田家新出文書による検討—」深井基三『日本歴史』(597)93-99
- 「ビタミン研究のブレイクスルー ビタミンEの歴史」美濃

眞『ビタミン』72(10)531-533

- 「緒方洪庵の薬箱とその生薬(6)「桂枝」について」米田該典、前平由紀、後淳也、緒方裁吉『薬史学雑誌』33(1)39-44
- 「緒方洪庵の薬箱とその生薬(5)「甘草」について」米田該典、前平由紀、王群、緒方裁吉『薬史学雑誌』33(1)35-38

## 58 蘭学史

- 「越前大野藩主土井利忠公のオランダ語印について」岩治勇一『北陸医史』19(1)7-10
- 「わが町の蘭学資料・蘭学者たち」片桐一男、他『洋学史研究』(15)99-151
- 「博物館散歩 ライデン博物館訪問記—蘭学の源流を訪ねて—」本宮かをる『ミクروسコピア』15(2)124-129

## 59 リハビリテーション関係史

- 「20世紀の医学をふりかえる リハビリテーション医学の20世紀」上田敏『からだの科学』(200)81-84

## 60 検 査

- 「医学史から見た臨床検査の歴史」酒井シヅ『日本臨床検査自動化学会誌』23(5)565-575
- 「臨床検査と診断術」酒井シヅ『ヒューマンサイエンス』9(2)26-27
- 「脳ドック 日本における脳ドックの歩み」高木繁治『老化と

疾患』11(5)631-636

「心電学研究の歴史をめぐって 遺伝性QT延長症候群研究の歩みの中で」橋場邦武『心電図』18(2)210-215

「心電学研究の歴史をめぐって 心筋イオンチャンネル研究の前夜」真柴裕人『心電図』18(1)78-81

「サーモグラフィの歴史 脳血管障害」若宮純司、納光弘、井形昭弘『Biomedical Thermology』17(3)181-186

「各種疾患におけるモニタリング 内頸静脈酸素飽和度測定(SjO<sub>2</sub>)の発達とその背景 脳循環代謝研究の歴史的業績を中心に」和田崇文、宿谷郁男、小川武希、阿部俊昭『集中治療』10(11)1241-1242

## 61 その他

「「生きがい」を感じる為の心の在り方について」石田純郎、向山望未『医譚』(90)4303-4309

「資料の保存について—あるいはゴミ集めの弁—」岡田靖雄『精神医学史研究』(1)61-64

「「美の内景」展見学記」金山知新『STETHOSCOPE』(154)7-9

「「遺伝子」と「気」」酒井シヅ『ヒューマンサイエンス』9(4)26-27

「ガーナを訪ねて」酒井シヅ『ヒューマンサイエンス』9(5)34-35

「今月の誌上ギャラリー 古代ローマ人の瀉血治療」酒井シヅ

『循環科学』18(1)巻末

「今月の誌上ギャラリー The Framingham Heart Study (FHS)」酒井シヅ『循環科学』18(2)巻末

「今月の誌上ギャラリー メスメリズム」酒井シヅ『循環科学』18(3)巻末

「今月の誌上ギャラリー 薬の宣伝広告」酒井シヅ『循環科学』18(4)巻末

「今月の誌上ギャラリー ホリスティック医学」酒井シヅ『循環科学』18(5)巻末

「今月の誌上ギャラリー 西洋の薬局」酒井シヅ『循環科学』18(6)巻末

「今月の誌上ギャラリー 水治療(1-3)」酒井シヅ『循環科学』18(7-8,10)巻末

「今月の誌上ギャラリー 難渋療治」酒井シヅ『循環科学』18(9)巻末

「今月の誌上ギャラリー 15世紀の講義風景」酒井シヅ『循環科学』18(11)巻末

「今月の誌上ギャラリー ディオスコリデスとギリシャ本草」酒井シヅ『循環科学』18(12)巻末

「医療とアメニティの関連性の考察(その2)(抄)」西巻明彦、陶栗綱『日本歯科医学史学会々誌』22(3)178

「医療今昔物語 学説・診療の変遷117 性科学」松本清一『臨床科学』34(5)692-698

## 62 中国語文献

- 「馬王堆帛書房中術產生的背景」朱越利『中華医史雜誌』28(1)1-6
- 「嶺南中西医彙通世家—陳氏三代」鄭洪『中華医史雜誌』28(1)7-12
- 「中国現代西医婦科学發展概述(下)」申世芳『中華医史雜誌』28(1)13-18
- 「蕭山竹林寺女科僧医的淵源」陳拯民『中華医史雜誌』28(1)19-22
- 「陳自明对中医産科学的貢獻」魏貽光『中華医史雜誌』28(1)23-25
- 「論秦漢時期癰病理論与癰病治則」嚴健民『中華医史雜誌』28(1)26-28
- 「澳門医学簡史」李春生·楊衛彬『中華医史雜誌』28(1)29-33
- 「古代浙江医政機構考述」朱德明『中華医史雜誌』28(1)34-39
- 「從苗族用火遺風看其早期医療保健成就」譚学林『中華医史雜誌』28(1)40-43
- 「中医在澳大利亞的傳播和發展」徐永昌『中華医史雜誌』28(1)44-46
- 「關於我国疾病認識史研究的思考」朱建平『中華医史雜誌』28(1)47-49
- 「衛生類陶瓷器掇要」和中浚『中華医史雜誌』28(1)50-54
- 「創辦医史博物館、提高医史研究水平」劉小斌『中華医史雜誌』28(1)55-56
- 「斯佩里对裂腦人的研究及其貢獻」王延光『中華医史雜誌』28(1)57-61
- 「王意庵与『意庵医案』」李富漢·鄒武『中華医史雜誌』28(1)62-63
- 「20世紀初測量血管压力的方法」小輝『中華医史雜誌』28(1)12
- 「克-雅氏病的歷史背景」楊四清·黃懷鈞『中華医史雜誌』28(1)18
- 「日本內閣文庫收藏的中国散佚古医籍」真柳誠·王鉄策『中華医史雜誌』28(2)65-71
- 「唐五代的回族医人發微」馮漢鏞『中華医史雜誌』28(2)72-74
- 「漢魏「暴室」考略」李建民『中華医史雜誌』28(2)75-77
- 「妊娠病之中医治未病思想源流初探」王希浩『中華医史雜誌』28(2)78-80
- 「肢体延長術發展簡史」王丹·胡蘊玉『中華医史雜誌』28(2)81-84
- 「对古代中医婦産科疾病史研究的思考」張志斌『中華医史雜誌』28(2)85-89
- 「近代長江流域血吸虫病的流行變遷及規律」蔣玲·龔勝生『中華医史雜誌』28(2)90-93
- 「台灣的現代医藥衛生(上)」高田·哈鴻潛『中華医史雜誌』28(2)94-99
- 「[盱江医学]形成因素的探討」何曉暉·傅淑清『中華医史雜誌』28(2)100-103

- 「古代彝族医史論要」東人達『中華医史雜誌』28(2)104-106
- 「丹溪九族師友考」劉時覺『中華医史雜誌』28(2)107-112
- 「洛陽龍門石窟藥方与敦煌卷子『備急单驗藥方卷』同源」張瑞賢·王濱生·先靜 等『中華医史雜誌』28(2)113-117
- 「『黑城出土文書』医藥殘文考略」劉海波『中華医史雜誌』28(2)118-120
- 「韓國朝鮮時代的内医院和医書編纂」朱承宰『中華医史雜誌』28(2)121-126
- 「深化孫思邈研究的必由之路—評『120首千金方研究』」張文『中華医史雜誌』28(2)127-128
- 「中国古代咽鼓管自行吹張法」朱建平『中華医史雜誌』28(2)89
- 「胸痺緩急」析疑」喇万英『中華医史雜誌』28(2)106
- 「新大陸的人痘接種」柏伊『中華医史雜誌』28(2)封三
- 「正確理解「民族医学」的涵義」蔡景峰『中華医史雜誌』28(3)129-130
- 「病有六不治」：中国最早的医学倫理準則」張大慶『中華医史雜誌』28(3)131-134
- 「龐安時針刺治療難產案考辨」李琳『中華医史雜誌』28(3)135-136
- 「『黄帝内經素問』「七損八益」之我見」李維秀『中華医史雜誌』28(3)137-140
- 「北京道濟医院考略」陳鳳林·劉士英·梁峻 等『中華医史雜誌』28(3)141-144
- 「近代石印医籍刊印史略」劉惠玲·童東光『中華医史雜誌』28(3)145-152
- 「診斷細胞学發展簡史」王兵·秦信義·彭先導『中華医史雜誌』28(3)153-156
- 「爛喉痧（猩紅熱）病史考略」余永燕『中華医史雜誌』28(3)157-160
- 「吳普所引神農藥性与『証類』『本經藥』所引神農藥性同異考」尚志鈞『中華医史雜誌』28(3)161-164
- 「台灣的現代医藥衛生（下）」高田·哈鴻潛『中華医史雜誌』28(3)165-170
- 「早期医史学者—尹端模」劉沢生『中華医史雜誌』28(3)171-173
- 「王永生平之謎」楊仕哲·黃維三·任育才『中華医史雜誌』28(3)174-176
- 「『幼幼新書』引用医学文献考」劉書奎『中華医史雜誌』28(3)177-180
- 「褚澄与『褚澄遺書』」慶慧·張登峰·岳哲『中華医史雜誌』28(3)181-183
- 「滑寿医学著作在日本的流播」牛亞華『中華医史雜誌』28(3)184-189
- 「日本的漢方医学史研究」梁永宣『中華医史雜誌』28(3)190-191
- 「医藥發明專利的起源」孫衛平『中華医史雜誌』28(3)140
- 「最早在美国实施種牛痘的人」小輝『中華医史雜誌』28(3)152

- 「羅桑丹貝尼瑪对蒙医学的貢獻」羅布桑·烏仁図雅·布和呼『中華医史雜誌』28(3)156
- 「產褥熱病因的最早揭示者」甄橙『中華医史雜誌』28(3)160
- 「『輔行訣臟腑用藥法要』中“一方作”藥物的探討」郭秀梅『紀念李時珍誕辰480周年學術論文集(中国湖北)』36-42
- 「『本草綱目』最初伝入日本の記録及金陵本の所在(翻訳)」郭秀梅『紀念李時珍誕辰480周年學術論文集(中国湖北)』21-26
- 「『万安方』引中国医書管窺」郭秀梅『中医藥雜誌(台湾)』1998(3)127-135
- 「香月牛山の『葉籠本草』和清医趙淞陽」郭秀梅『紀念李時珍誕辰480周年學術論文集(中国湖北)』30-36
- 「傷寒論中の方言俗語」郭秀梅『医古文知識(中国上海)』1998(1)39-41
- 「青山遮不住東流伝岐黄」郭秀梅『医古文知識(中国上海)』1998(4)18-23
- 「難經文字考管窺」郭秀梅『長春中医学院学報(中国長春)』1998(1)61-63
- 「李時珍『奇経八脈考』所引氣功文献考(翻訳)」郭秀梅『紀念李時珍誕辰480周年學術論文集(中国湖北)』26-30
- 「中日对腦解剖認識の時代差異」邵沛『華夏出版社所収:日本伝統医藥学現状与趨勢(中国北京)』71-76
- 「伝統医学与现代医学の淵源」邵沛『吉林中医藥(中国吉林)』1998(1)61-62

## 64 欧文文献

- ADAIR, R./FORSYTHE, B./MELLING, J.: A Danger to the Public? Disposing of Pauper Lunatics in Late-Victorian and Edwardian England: Plympton St Mary Union and the Devon County Asylum, 1867-1914: *Medical History*: 42(1)1-25
- AMMAR, S.: Ibn Al Jazzar and the kairouan medical school of the tenth century AD: *Vesalius*: 4(1)3-4
- ANDREWS, Jonathan: Case Notes, Case Histories, and the Patient's Experience of Insanity at Gartnavel Royal Asylum, Glasgow, in the Nineteenth Century: *So. Hist. Med.*: 11(2)255-281
- BACH, Marie-Anne: Building the French Muscular Dystrophy Association: The Role of Doctor/Patient Interactions: *So. Hist. Med.*: 11(2)233-253
- BAKEWELL, Sarah: Images of Bodily Transformation: *Medical History*: 42(4)503-517
- BARTRIP, Peter: Too Little, Too Late? The Home Office and the Asbestos Industry Regulations, 1931: *Medical History*: 42(4)421-438
- BAUER, V.A.W.: Ursachen oder Motive? Das Dilemma der medizinischen Forschung zwischen naturwissenschaftlicher und hermeneutischer Methode: *Wurzburger medizinhistorische Mitteilungen*: 1753-63

- BIRN, Anne-Emanuelle: A Revolution in Rural Health? The Struggle over Local Health Units in Mexico, 1928-1940: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 53(1)43-76
- BORST, Charlotte G.: Teaching Obstetrics at Home: Medical Schools and Home Delivery Services in the First Half of the Twentieth Century: *Bull. Hist. Med.*: 72(2)220-245
- BYL, S.: L'étiologie divine dans la bible hébraïque Points de contact avec la littérature grecque: *Vesalius*: 4(special no.)13-18
- CARMICHAEL, Ann G.: The Last Past Plague: The Uses of Memory in Renaissance Epidemics: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 53(2)132-160
- CHEMOUNI, J.: Identité et psychanalyse: particularité et universalité de la question juive chez Freud: *Vesalius*: 4(special no.)37-44
- CLEMENT, Mark: Physical Puritanism and Religious Dissent: The Case of John Young (1820-1904), Sunderland Chemist and Druggist and Methodist Lay Preacher: *So. Hist. Med.*: 11(2)197-212
- CONNOR, Henry: The Use of Chloroform by British Army Surgeons during the Crimean War: *Medical History*: 42(2)161-193
- CORLETT, Helen: "No Small Uncertainty": Eye Treatments in Eighteenth-Century England and France: *Medical History*: 42(2)217-234
- CROSFILL, M.L.: Medical Declarations on Temperance: *Vesalius*: 4(1)5-12
- DEMAITRE, Luke: Medieval Notions of Cancer: Malignancy and Metaphor: *Bull. Hist. Med.*: 72(4)609-637
- ERNST, Waltraud: Asylum Provision and the East India Company in the Nineteenth Century: *Medical History*: 42(4)476-502
- ESPINOS, J.A./GANAN M.I.F.: Andrés Piquer et la tradition hippocratique dans l'Espagne du XVIIIe siècle: *Vesalius*: 4(1)31-34
- EVENDEN, Doreen A.: Gender Differences in the Licensing and Practice of Female and Male Surgeons in Early Modern England: *Medical History*: 42(2)194-216
- EVLETH, Donna: The 'Romanian Privilege' in French Medicine and Anti-Semitism: *So. Hist. Med.*: 11(2)213-232
- FINE, Sidney: The Kerr-Mills Act: Medical Care for the Indigent in Michigan, 1960-1965: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 53(3)285-316
- FINGER, S./LAW, M.B.: Karl August Weinhold and His "Science" in the Era of Mary Shelley's *Frankenstein*: Experiments on Electricity and the Restoration of Life:

- J. Hist. Med. Allied Sci.: 53(2)161-180
- GARNER, James S.: The Great Experiment: The Admission of Women Students to St Mary's Hospital Medical School, 1916-1925: *Medical History*: 42(1)68-88
- GELPI, A.P.: Saint Sebastian and the Black Death: *Vesalius*: 4(1)23-30
- GERABEK, V.W.E.: Die 'Jenaische allgemeine Literatur-Zeitung' als Quelle zur Medizin, Medizinischen Anthropologie und Naturphilosophie der Klassik und Romantik (1795-1830) Ein Forschungsbericht: *Wurzbürger medizinhistorische Mitteilungen*: 1747-52
- GERGELY, T.: Juifs et Médecins: *Vesalius*: 4(special no.) 4-12
- GIANNULI, Dimitra: "Repeated Disappointment": The Rockefeller Foundation and the Reform of the Greek Public Health System, 1929-1940: *Bull. Hist. Med.*: 72(1)47-72
- GREENWOOD, Anna: Lawson Tait and Opposition to Germ Theory: Defining Science in Surgical Practice: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 53(2)99-131
- GRIER, Julie: Eugenics and Birth Control: Contraceptive Provision in North Wales, 1918-1939: *So. Hist. Med.*: 11(3)443-458
- GROB, Gerald N.: Psychiatry's Holy Grail: The Search for the Mechanisms of Mental Diseases: *Bull. Hist. Med.*: 72(2)189-219
- GROSS, Dominik: 'Deprofessionalisierung' oder 'Paraprofessionalisierung'? Die berufliche Entwicklung der Hebammen und ihr Stellenwert in der Geburtshilfe des 19. Jahrhunderts: *Sudhoffs Archiv*: 82(2)219-238
- GROSS, Von Dominik: Zwischen Anspruch und Wirklichkeit: Der Stellenwert zahnbehandelnder Massnahmen in den Anfängen der gesetzlichen Krankenversicherung (1883-1919): *Wurzbürger medizinhistorische Mitteilungen*: 1731-46
- GUGLIOTTA, Angela: "Dr. Sharp with His Little Knife": Therapeutic and Punitive Origins of Eugenic Vasectomy —Indiana, 1892-1921: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 53(4) 371-406
- HAINES, R./SHLOMOWITZ, R.: Explaining the Modern Mortality Decline: What Can We Learn from Sea Voyages?: *So. Hist. Med.*: 11(1)15-48
- HARDY, Anne: On the Cusp; Epidemiology and Bacteriology at the Local Government Board, 1890-1905: *Medical History*: 42(3)328-346
- HARLEY, David: James Hart of Northampton and the Calvinist Critique of Priest-Physicians: An Unpublished Polemic of the Early 1620 s: *Medical History*: 42(3)362

- 386
- HART, P.D./TANSEY, E.M. (Edited and annotated by):  
Chronic Pulmonary Disease in South Wales Coal Mines:  
An Eye-Witness Account of the MRC Surveys (1937-  
1942): *So. Hist. Med.*: 11(3)459-468
- HAYTER, Charles R.R.: The Clinic as Laboratory: The  
Case of Radiation Therapy, 1896-1920: *Bull. Hist. Med.*:  
72(4)663-688
- HENNOCK, E.P.: Vaccination Policy against Smallpox,  
1835-1914: a Comparison of England with Prussia and  
Imperial Germany: *So. Hist. Med.*: 11(1)49-71
- HEPLER, Allison L.: "And We Want Steel Toes Like the  
Men": Gender and Occupational Health during World  
War II: *Bull. Hist. Med.*: 72(4)689-713
- HINDMARSH, J.T./CORSO, P.F.: The Death of Napoleon  
Bonaparte: A Critical Review of the Cause: *J. Hist. Med.*  
*Allied Sci.*: 53(3)201-218
- HOLDSWORTH, Clare: Dr. John Thomas Arlidge and  
Victorian Occupational Medicine: *Medical History*:  
42(4)458-475
- HOLT, Natalie: "Confusion's Masterpiece": The Develop-  
ment of the Physician Assistant Profession: *Bull. Hist.*  
*Med.*: 72(2)246-278
- IANCU-AGOU, D.: Médecins juifs et néophytes en Proven-  
ce (1460-1525): *Vesalius*: 4(special no.)28-36
- ISAACS, Jeremy D.: D D Cunningham and the Aetiology of  
Cholera in British India, 1869-1897: *Medical History*:  
42(3)279-305
- JACKSON, Mark: 'It Begins with the Goose and Ends with  
the Goose': Medical, Legal, and Lay Understandings of  
Imbecility in 1824-1832: *So. Hist. Med.*: 11(3)361-380
- JACQUART, D.: La place d'Isaac israeli dans la médecine  
médiévale: *Vesalius*: 4(special no.)19-27
- JAMES, P.J.: Médecine à la Molière: *Vesalius*: 4(1)35-41
- JANOT, Fr.: Une approche nouvelle de l'embaumement  
dans l'ancienne Egypte: les instruments des pretres-em-  
baumeurs: *Vesalius*: 4(1)13-22
- JARCHO, Saul: The Manuscript Consultation Reports of  
Francesco Torti: *Bull. Hist. Med.*: 72(1)73-74
- KAPTCHUK, Ted J.: Intentional Ignorance: A History of  
Blind Assessment and Placebo Controls in Medicine:  
*Bull. Hist. Med.*: 72(3)389-433
- KROGMANN, Von Frank: Béla Schick (1877-1967) und  
seine Entdeckung: "Das Menotoxin": *Wurzburger med-  
izinhistorische Mitteilungen*: 1721-30
- LABISCH, A.: *History of Public Health-History in Public  
Health: Looking Back and Looking Forward*: *So. Hist.*  
*Med.*: 11(1)1-13

- LEDERER, S.E./PARASCANDOLA, J.: Screening Syphilis: Dr. Ehrlich's Magic Bullet Meets the Public Health Service: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 53(4)345-370
- MAKARI, George J.: Between Seduction and Libido: Sigmund Freud's Masturbation Hypotheses and the Realignment of His Etiologic Thinking, 1897-1905: *Bull. Hist. Med.*: 72(4)638-662
- MCINTOSH, Tania: Profession, Skill, or Domestic Duty? Midwifery in Sheffield, 1881-1936: *So. Hist. Med.*: 11(3) 403-420
- MCINTYRE, N.: The medical statues of Paris: *Vesalius*: 4(2)79-89
- MILES, M: Goitre, Cretinism and Iodine in South Asia: Historical Perspectives on a Continuing Scourge: *Medical History*: 42(1)47-67
- MORING, Beatrice: Motherhood, Milk, and Money. Infant Mortality in Pre-Industrial Finland: *So. Hist. Med.*: 11(2)177-196
- MÜNCH, V.R./BIEL, S.S.: Expedition, Experiment und Expertise im Spiegel des Nachlasses von *Robert Koch*: *Sudhoffs Archiv*: 82(1)1-29
- MUZUR, A.: Saints, Miracles and Healings: Eternal Challenges: *Vesalius*: 4(2)63-68
- NAVON, L.: Beggars, Metaphors, and Stigma: a Missing Link in the Social History of Leprosy: *So. Hist. Med.*: 11(1)89-95
- PEERS, Douglas M.: Soldiers, Surgeons and the Campaigns to Combat Sexually Transmitted Diseases in Colonial India, 1805-1860: *Medical History*: 42(2)137-160
- PODOLSKY, Scott: Cultural Divergence: Elie Metchnikoff's *Bacillus bulgaricus* Therapy and His Underlying Concept of Health: *Bull. Hist. Med.*: 72(1)1-27
- PUESCHEL, Siegfried M.: Do Olmec Figurines Resemble Children with Specific Dysmorphology Syndromes?: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 53(4)407-415
- RAZELL, P.: The Origins of Vaccinia Virus-a Brief Rejoinder: *So. Hist. Med.*: 11(1)107-108
- RAZZELL, Peter: The Conundrum of Eighteenth-Century English Population Growth: *So. Hist. Med.*: 11(3)469-500
- RIHA, V.O.: Die "Liebeskrankheit" und die Wissenschaft Wechselwirkungen zwischen Medizin und Literatur: *Wurzburger medizinhistorische Mitteilungen*: 1789-99
- ROSENBERG, Charles E.: Pathologies of Progress: the Idea of Civilization as Risk: *Bull. Hist. Med.*: 72(4)714-730
- SACHS, V.M.: Gesundheit, Krankheit und Ärzte in den Sinngedichten Friedrich von Logaus (Februar 1605-25.

- August 1655): Wurzburger medizinhistorische Mitteilungen: 1765-88
- SAKAI, Shizu: Translation and the Origins of Western Science in Japan: The Introduction of Modern Science and Technology to Turkey and Japan International Symposium 1996: 137-157
- SALAZAR, Christine F.: Getting the Point: Paul of Aegina on Arrow Wounds: *Sudhoffs Archiv*: 82(2)170-187
- SAWCHUK, L.A./BURKE, S.D.A.: Gibraltar's 1804 Yellow Fever Scourge: The Search for Scapegoats: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 53(1)3-42
- SCHWARZMANN - SCHAFFHAUSER, Doris: Johann Georg Heine-Handlungsspielräume für hand-werkliche Spezialisten nach der bayerischen Medizinalreform im frühen 19. Jahrhundert: *Sudhoffs Archiv*: 82(1)52-73
- SCHWEIKARDT, C.: How do cathartic drugs act? A case study on Gregor Horst (1578-1636) and his attempt to defend Galenist theory: *Vesalius*: 4(2)69-78
- SHVARTS, S.: Health Reform in Israel: Some Aspects of Seventy Years of Struggle (1925-1995): *So. Hist. Med.*: 11(1)72-88
- SHVARTS, S./BROWN, T.M.: Kupat Holim, Dr. Isaac Max Rubinow, and the American Zionist Medical Unit's Experiment to Establish Health Care Services in Palestine, 1918-1923: *Bull. Hist. Med.*: 72(1)28-46
- SLAVEC, Z.Z.: Occupational medicine in Idria Mercury Mine in 18th century: *Vesalius*: 4(2)51-59
- STARKEY, Pat: The Medical Officer of Health, the Social Worker, and the Problem Family, 1943 to 1968: The Case of Family Service Units: *So. Hist. Med.*: 11(3)421-441
- SZAFRAN, W.: Introduction: "Histoire de la Médecine et Judaïsme": *Vesalius*: 4(special no.)3
- SZAFRAN, W.: Aspects socio-culturels judaïques de la pensée de Freud: *Vesalius*: 4(special no.)45-56
- TAYLOR, Therese: 'Purgatory on Earth': An Account of Breast Cancer from Nineteenth-Century France: *So. Hist. Med.*: 11(3)381-402
- THOMAS, J./WILLIAMS, S.: Women and Abortion in 1930s Britain: A Survey and Its Data: *So. Hist. Med.*: 11(2)283-309
- TRICOT, J.P.: Compte-rendu: Conseil d'Administration, Bureau et Assemblée Générale de la S.I.H.M. Minutes: Administrative Council, Board and General Assembly of the I.S.H.M.: *Vesalius*: 4(2)90-96
- TWEEDALE, G./HANSEN, P.: Protecting the Workers: The Medical Board and the Asbestos Industry, 1930s-1960s: *Medical History*: 42(4)439-457

- UEHLEKE, Bernhard: Zur Nennung des Begriffs “Naturmedizin” bei Daniel Fischer um 1745 als Vorgriff auf die ein Jahrhundert später entwickelte Naturheilkunde: *Sudhoffs Archiv*: 82(1)98-101
- VESCIA, F.G.: In the steps of Hospes: *Vesalius*: 4(2)60-62
- VINER, Russell: Abraham Jacobi and German Medical Radicalism in Antebellum New York: *Bull. Hist. Med.*: 72(3)434-463
- VOLLMUTH, Ralf: “Wann einer mit einer puchssen/geschossen wirt”. “Eine Mehrschritt-Therapie” für Schuswunden aus der zweiten Hälfte des 15. Jahrhunderts: *Sudhoffs Archiv*: 82(1)102-104
- WADDINGTON, Keir: Unsuitable Cases: The Debate over Outpatient Admissions, the Medical Profession and Late-Victorian London Hospitals: *Medical History*: 42(1)26-46
- WALKER-SMITH, John: Sir George Newman, Infant Diarrhoeal Mortality and the Paradox of Urbanism: *Medical History*: 42(3)347-361
- WEINRICH, Klaus: Die Lichtbrechung in den Theorien von Descartes und Fermat: *Sudhoffs Archiv Beihefte*: (40)171
- WEISSER, Von Christoph: Erste Würzburger Äther-Narkosen im Jahre 1847 durch Robert Ritter von Welz (1814-1878): *Würzburger medizinhistorische Mitteilungen*: 177-20
- WELSHMAN, John: Dental Health as a Neglected Issue in Medical History: The School Dental Service in England and Wales, 1900-40: *Medical History*: 42(3)306-327
- WILLIAMS, David I.: The Obstetric Society of 1825: *Medical History*: 42(2)235-245
- WILSON, Daniel J.: A Crippling Fear: Experiencing Polio in the Era of FDR: *Bull. Hist. Med.*: 72(3)464-495
- WIVEL, A.: Abortion Policy and Politics on the Lane Committee of Enquiry, 1971-1974: *So. Hist. Med.*: 11(1)109-135
- WOLF, Jacqueline H.: “Don’t Kill Your Baby”: Feeding Infants in Chicago, 1903-1924: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 53(3)219-253
- YOUNG, J.H./MCFADYEN, R.E.: The Koch Cancer Treatment: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 53(3)254-284
- YOUNG, James Harvey: The Development of the Office of Alternative Medicine in the National Institutes of Health, 1991-1996: *Bull. Hist. Med.*: 72(2)279-298